

平成28年度

相模原市立博物館 年報



目 次

相模原市立博物館概要	2
1 設立の経緯	
2 設置目的	
3 博物館略年表	
4 平成 28 年度博物館重点目標	
管理運営	6
1 組織及び職員 (1) 組織と事務分掌 (2) 職員	
2 博物館協議会 (1) 趣旨 (2) 委員構成 (3) 活動状況	
3 施設 (1) 施設概要 (2) 施設管理	
4 予算	
教育普及	10
1 入館者数 (1) 28 年度計 (2) 総計 (3) 詳細	
2 企画展等	
3 講座・講演会・教室・観望会等の事業	
4 プラネタリウム・全天周映画	
5 情報サービスコーナー	
6 学校と博物館の連携を進める研究会	
7 広報・出版等	
8 博物館学芸員実習	
9 学習利用	
10 インターンシップ	
11 博物館職員の講師依頼等	
12 市民との協働	
資料管理	37
1 博物館収蔵資料点数	
2 収集・整理	
3 購入資料	
4 有害生物管理の実施 (1) 受入れ資料のくん蒸 (2) 有害生物調査	
5 資料の特別利用	
調査研究	46
市史・町史編さん	47
1 相模原市史	
2 津久井町史	
博物館関連施設	50
1 尾崎号堂記念館	
2 吉野宿ふじや	
3 入館者数一覧	

相模原市立博物館概要

1 設立の経緯

昭和 53 年 12 月、郷土懇話会や文化協会ほか 8 団体の連名で「博物館設置要望書」が市長に提出された。翌年、文化関係 6 団体からなる文化財研究協議会が結成され、ここで博物館設立について熱のこもった論議が行われた。設立総会での神崎彰利氏の講演「郷土の文化を守るために = 地域博物館の意義と役割」を理論的柱として、建設促進のための活動が展開された。

こうした市民の積極的な行動と同時に、昭和 55 年、市総合計画の中に「博物館・美術館などの文化施設の検討」が盛り込まれ、昭和 56 年 4 月に社会教育課に博物館準備係が設置され、博物館設立の第一歩が踏み出された。設立の過程で幾つかの問題があったが、最大の難問は建設用地で、旧米軍キャンプ淵野辺跡地処分決定に 6 か年を要したが、博物館をつくる懇話会が提言した“自然環境にめぐまれた”用地が確保された。相模原市の公共施設として、初めてプロポーザル方式で設計者を選定し、平成 5 年に着工した。

平成 7 年 11 月 20 日（市制記念日）に開館。開館後は 1 階の常設展示やプラネタリウムを中心に、企画展や講座・教室・観察会など、子どもから年長者までだれもが楽しく学べるよう、さまざまな事業を行っている。

総入館者数は、平成 16 年 1 月に 100 万人を超え、平成 23 年 8 月に 200 万人、開館 20 年目を迎えた平成 27 年 6 月には 250 万人を超えるなど、毎年、多くの来館者を迎えている。また、多くの市民の会による活動など、近年はボランティアによる活動も盛んになっている。さらに、学校への出張授業や、土器や昔の道具等「貸出しキット」の活用、市内のすべての小学校が年に一回は来館するなど、学校への支援・連携も積極的に実施している。

2 設置目的

郷土の自然及び文化並びに天文に親しむとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、生涯学習の振興を図り、もっていきいきとした市民文化の創造に寄与するため、博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 2 条第 1 項に規定する博物館として、相模原市立博物館を相模原市中央区高根 3 丁目 1 番 15 号に設置する。（市立博物館条例第 2 条）

当館の特徴...自然（動物・植物・地質・天文部門）、人文（考古・歴史・民俗部門）両分野にわたる総合博物館で、プラネタリウムを併設する博物館法に基づく登録博物館（H7.11.20 神奈川第 32 号）

3 博物館略年表

年 月	事 項
昭和 5 5 年 4 月	相模原市総合計画に建設の検討が盛り込まれる
昭和 5 6 年 4 月	社会教育課に博物館準備係を設置
昭和 5 6 年 6 月	博物館をつくる懇談会を設置
昭和 5 6 年 1 0 月	博物館をつくる懇談会から建設構想策定の提言
昭和 5 8 年 2 月	(仮称)相模原市立博物館基本構想策定
昭和 5 8 年 6 月	展示専門委員会の設置
昭和 5 9 年 3 月	博物館展示基本計画の策定
平成 2 年 1 1 月	国有財産関東地方審議会において博物館建設用地の処分が認められる。(仮称)相模原市立博物館建設基本計画策定
平成 3 年 4 月	博物館建設事務所設置
平成 3 年 5 月	建築設計候補者選考委員会の設置
平成 3 年 7 月	建築設計プロポーザル提案図書提出
平成 3 年 8 月	建築設計者の決定 博物館をつくる懇談会市長へ意見書を提出し解散
平成 3 年 9 月	建築基本設計着手
平成 4 年 1 月	建設用地の取得 展示プロポーザル提案図書の提出
平成 4 年 2 月	展示設計・施工候補者選考委員会設置 展示設計・施工者の決定
平成 4 年 5 月	建設実施設計及び展示実施設計着手 プラネタリウム等候補機種選考委員会の開催
平成 5 年 6 月	博物館建設工事・展示工事・プラネタリウム等設備工事契約
平成 6 年 8 月	天体観測機器設置工事契約
平成 7 年 3 月	相模原市立博物館条例制定 登録原簿への登録を受ける(記号番号 神奈川第 3 2 号)
平成 7 年 7 月	博物館建設工事竣工
平成 7 年 1 0 月	展示工事・プラネタリウム等工事・天体観測機器設置工事竣工
平成 7 年 11 月 20 日 開館	
平成 8 年 5 月	入館者 1 0 万人達成記念式典(5 月 1 9 日)
平成 8 年 1 0 月	平成 8 年度第 4 1 回神奈川建築コンクール最優秀賞受賞
平成 9 年 4 月	障害者・高齢者・ひとり親家庭等の家族に対するプラネタリウム観覧料等の免除施策開始

平成 9 年 4 月	隣接地に淵野辺公園第 2 駐車場（50 台収容）が完成し、博物館駐車場と一体的な運用開始
平成 9 年 5 月	1997 年度日本建築学会作品選奨受賞
平成 9 年 10 月	平成 9 年度通商産業省選定グッド・デザイン施設受賞
平成 9 年 11 月	平成 9 年度第 38 回建築業協会賞受賞
平成 11 年 11 月	11/21 入館者数 50 万人を超える
平成 12 年 5 月	公共建築賞優秀賞受賞
平成 16 年 1 月	1/18 入館者数 100 万人を超える 入館者 100 万人達成セレモニー
平成 17 年 4 月	市立博物館シンボルマークを制定
平成 17 年 10 月	開館 10 周年記念特別展「博物館 10 年の歩み」を実施 10/22 入館者数 120 万人を超える
平成 18 年 10 月	博物館資料調査員 2 名を配置（19 年 4 月より 4 名配置）
平成 22 年 4 月	管理係が企画情報班に組織変更。市史編さん班新設（補助執行）
平成 22 年 7 月	小惑星探査機「はやぶさ」の帰還カプセルを世界初公開
平成 23 年 4 月	天文展示室リニューアルオープン
平成 23 年 8 月	8/28 入館者数 200 万人を超える 入館者 200 万人達成セレモニー
平成 24 年 2 月	全天周映画「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」の観覧者が 5 万人を超える
平成 25 年 7 月	吉野宿ふじやリニューアルオープン
平成 25 年 8 月	小惑星「イトカワ」の微粒子世界初公開
平成 26 年 12 月	小惑星探査機「はやぶさ 2」打上げパブリックビューイング開催
平成 27 年 3 月	吉野宿ふじや常設展示リニューアル
平成 27 年 6 月	6/20 入館者数 250 万人を超える
平成 27 年 11 月	相模原市立博物館開館 20 周年
平成 28 年 2 月	尾崎弔堂記念館常設展示リニューアル
平成 28 年 4 月	プラネタリウムの操作等業務を PPP で選考した業者と契約

4 平成 28 年度 博物館 重点目標

重点目標

生涯学習部の重点目標である「誰もがいつでもどこでも学べる生涯学習を支える環境の充実」の推進の柱となる博物館は、博物館法に基づく博物館として地域の歴史や文化・自然に関する資料の収集・保管・展示等という基本的な役目に加え、その活用を図りながら地域文化を継承・発信する拠点となります。事業実施にあたっては、市民や近隣施設をはじめとしたステークホルダーとの連携強化に努めることで相乗効果を生み、博物館は元より相模原の魅力の発信に努めます。

- ・ J A X A 等との連携による宇宙教育普及事業の拡充・充実に努めます。

- ・ J A X A 相模原キャンパスをはじめとした地域の団体や学校等と連携した事業展開を図ること
とで博物館の来館者の増加を図ると共に学びの場を提供します。
- ・ 市民ボランティア等の育成と協働による博物館活動の充実を図ります。
- ・ 市内の小・中学校と連携してアクティブ・ラーニングの視点を持った学習支援を行います。
- ・ 博物館が実施する事業を様々なメディアを積極的に活用しながら情報発信し、広く周知する
ことで博物館の魅力発信に努めます。

重点施策（取り組むべき事業）

(1) 宇宙教育普及事業

- J A X A と連携した企画展や講演会の開催
- 「さがみはら宇宙の日」と題した講演会等のイベントを毎月開催
- J A X A、地域の団体や学校等と連携した共催事業の実施
- 宇宙・天文分野における支援ボランティアの育成及び協働
- プラネタリウム機器更新の検討

(2) 博物館常設展示リニューアル事業

- 市民ボランティアとの協働による展示内容の検討及び展示替え

(3) 博物館ネットワークの構築

- 提案団体と協働で情報ネットワークの構築を図る。
- 「尾崎号堂記念館活性化事業」(「尾崎行雄の業績と号堂桜を広める事業」の実施)

(4) 地域の歴史や文化・自然に関する展示や講演会等の事業の実施

- 考古・歴史・民俗・生物・天文等に関する企画展示の実施
- 考古・歴史・民俗・生物・天文・地質に関する講演会の実施

(5) 積極的な情報発信の推進

- 広報さがみはら、ホームページに加え、ブログ・ツイッター等 SNS サービスの活用
- 機会を捉えた積極的な報道提供

(6) 市内小・中学校との連携

- 「学校と博物館の連携を進める研究会」による貸出しキットの作成、博物館見学、職場体験、
学習相談、学校への出張授業等の実施

(7) 博物館施設及び博物館関連施設の維持保全

- 市公共施設マネジメント指針に沿った計画的な維持管理を図る。
- 来館者の安全・安心を第一とした管理運営に努める。

(8) 市史・町史編さん事業

- 相模原市史「近代資料編」の刊行
- 刊行した市史・町史に関係する講演会の実施

(9) 博物館評価の実施

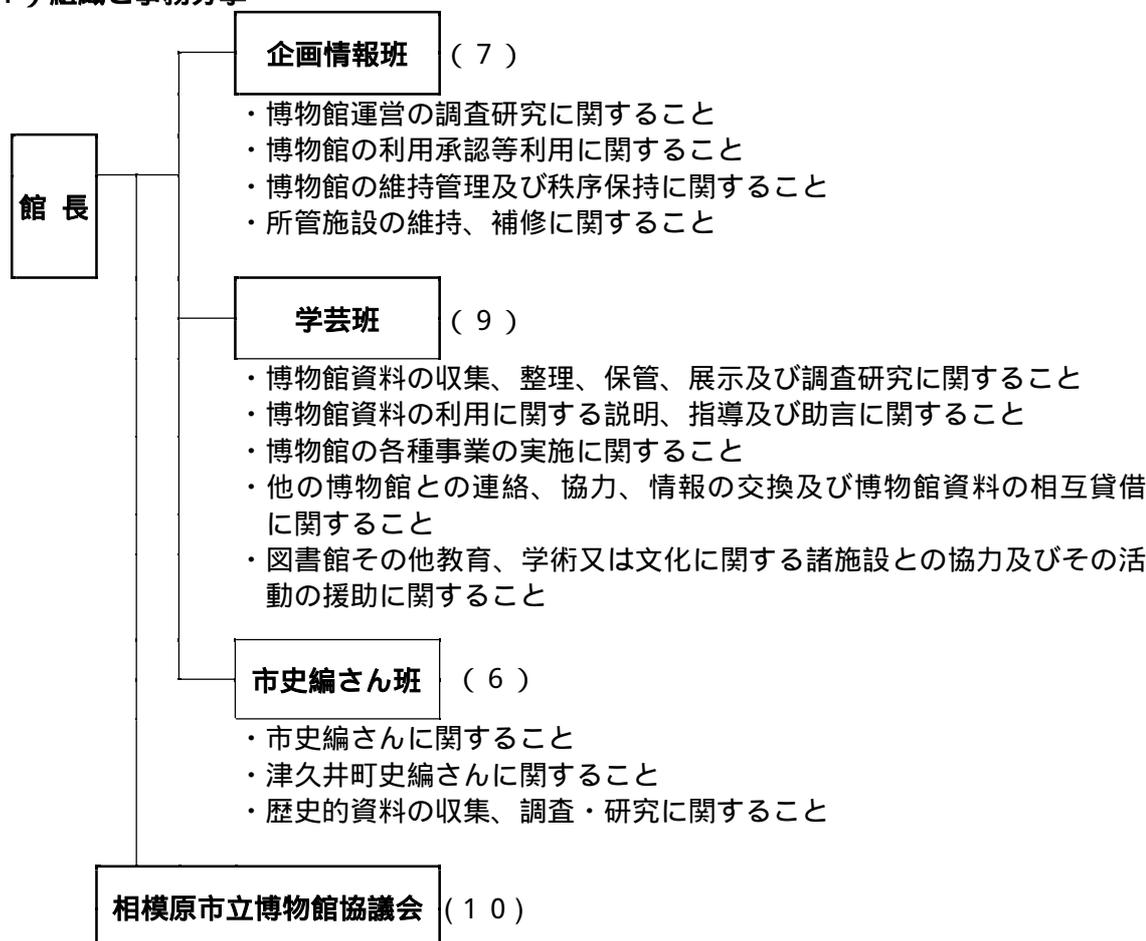
- 博物館評価を実施し、より親しまれる博物館を目指します。

管理運営

1 組織及び職員

平成 29 年 3 月 31 日現在

(1) 組織と事務分掌



(2) 職員

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

	参事兼館長	佐藤 正五	参事兼館長	武田 伸彦
企画情報班	担当課長	佐々木 春美	担当課長	佐々木 春美
	主査	松木 悟	主査	松木 悟
	主査	物江 隆	主査	江成 正美
	主査	江成 正美	主任	有田 和人
	主任(学芸員)	中川 真人(考古)	主任(再任用)	井上 明
	主任(再任用)	井上 明	主任(再任用)	古瀬村 智充
	主任(再任用)	古瀬村 智充	主任(再任用)	尾崎 當
			主任(再任用)	山下 秀範
学芸班	総括副主幹(学芸員)	加藤 隆志(民俗)	総括副主幹(学芸員)	加藤 隆志(民俗)
	副主幹(学芸員)	木村 知之(生物)	副主幹(学芸員)	木村 知之(生物)
	指導主事	福井 智之	副主幹(学芸員)	木村 弘樹(歴史)
	主査	方波見 淳	主査(学芸員)	中川 真人(考古)
	主査(学芸員)	木村 弘樹(歴史)	主査(学芸員)	秋山 幸也(生物)
	主査(学芸員)	秋山 幸也(生物)	主査(学芸員)	河尻 清和(地質)

平成 28 年度 相模原市立博物館 年報

	主査（学芸員）	河尻 清和（地質）	主事	田子 智大
	主任	有田 和人	主任（再任用）	高橋 進
	主任（再任用）	高橋 進		
市史編さん班	担当課長	薦野 正明	担当課長	菊地原 貴史
	副主幹（町史担当）	守屋 博文	副主幹	三沢 長次
	副主幹	三沢 長次	主査	井上 泰
	主査	井上 泰	主査（町史担当）	方波見 淳
	主任（町史担当）	荒井 望	主査（町史担当）	荒井 望
	主任（再任用）	尾崎 當		
非常勤特別職	学習指導員	2 名	学習指導員	1 名
	市史編さん調査員	1 名	市史編さん調査員	1 名
	町史専門調査員	1 名	町史専門調査員	1 名

2 博物館協議会

（1）趣 旨

博物館法に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関。

（2）委員構成 任期 2 年

平成 27 年 1 月 20 日～平成 29 年 1 月 19 日

会長 副会長

氏 名	備 考	選出区分
近 森 謙 介	小学校教諭（平成 28 年 5 月 2 日から）	学校教育
坂 本 万 里	高等学校校長	
戸 塚 厚 生	市文化財研究協議会会長	社会教育
森 山 小百合	市立小中学校 P T A 連絡協議会	
井 上 博 美	市女性学習グループ連絡協議会	家庭教育
小 瀬 康 行	東京家政学院大学教授	学識経験者
青 木 雄 司	神奈川県公園協会職員	
生 田 ちさと	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所准教授	
勝 田 一 郎	市の住民	市民公募
豊 田 里 美		

（3）活動状況

回	開催日	お も な 内 容
1	7 月 13 日（水）	・平成 27 年度の活動について ・プラネタリウム事業について
2	11 月 10 日（木）	・平成 28 年度の活動評価について ・小学校の博物館利用について

3	平成 29 年 2 月 23 日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度の活動評価について ・今後の予定について
---	-------------------------	--

3 施設

(1) 施設概要

ア 敷地面積	9,999.48 ^{m²}
イ 構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨 鉄筋コンクリート造・鉄骨造
ウ 規模	地下 1 階・地上 3 階建て
エ 建築面積	5,081.03 ^{m²}
オ 延床面積	9,510.24 ^{m²}

	用途 ・面積	主な室	内 容
展示・教育	展示スペース (1,907 ^{m²})	自然・歴史展示室 (1,170 ^{m²})	「川と台地と人々の暮らし」をテーマに5つのコーナーから構成され、実物資料はもとより精密なレプリカやジオラマなどを利用し、具体的で分かりやすい展示がされている。
		天文展示室 (127 ^{m²})	「宇宙とつながる」をテーマに、JAXA から借用した実物資料や、隕石、太陽望遠鏡のライブ映像など、身近に感じる資料を用いて、宇宙についての分かりやすい展示がされている。
		特別展示室 (487 ^{m²})	常設展示とは別に、様々なテーマでの特別展示が行われる。
	学習スペース (453 ^{m²})	実習実験室 (90 ^{m²})	各種講座・観察会等を開催 6卓 48席
		情報サービスコーナー (127 ^{m²})	郷土の自然や歴史に関する記録映像、参考図書を集集。子ども向けの図書もあり、自由に閲覧できる。
		大会議室 (237 ^{m²})	各種講座・講演会等を開催 椅子席で200人収容
プラネタリウム (648 ^{m²})	プラネタリウム (648 ^{m²})	室内に210席を配置し、小学校の一つの学年が一度に観覧できる。スクリーンは直径23mのドーム型で、星空等の投影のほか大型映像(全天周映画)を上映できる。	
保管・研究	研究スペース (1,038 ^{m²})	市民研究室 (294 ^{m²})	自然と歴史分野の研究室が2階にあり、天文分野の研究室が1階にある。専門書の利用や学芸員への相談が行える。
		天体観測室 (74 ^{m²})	口径40cmの反射望遠鏡が設置され、星空観望会等で実際に天体の観測を体験できる。
		整理作業室ほか	博物館資料の整理や調査研究を行うための諸室が設置されている。
	収蔵スペース (1,570 ^{m²})	特別収蔵庫ほか	各分野別資料を良好な状態で安全に保存するため、温湿度管理及び警備を行っている。
管理・共用	管理・共用 スペース (3,894 ^{m²})	事務室、喫茶室 ミュージアムショップほか	1階休憩コーナーや軽食のとれる2階喫茶コーナー、市史や図録の他博物館関連のグッズを販売するミュージアムショップ、博物館の管理運営のための事務室や機械室がある。

(2) 施設管理

施設の設備運転・保守、警備、清掃業務は外部委託している。

消防訓練 平成 28 年 11 月 30 日 (水)

平成 29 年 3 月 15 日 (水)

4 予 算

(単位：千円)

款	項	目	科目名	28年度予算額	29年度予算額	財源内訳	28年度
50	20	05	生涯学習施設維持補修費	50	32	一般財源	50
						特定財源	0
50	20	45	博物館費	278,628	269,022	一般財源	258,479
						特定財源	20,149
計				278,678	269,054		278,678

生涯学習施設維持補修費

節		説 明		
区分	金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費		
1 1 需用費	50	経費内訳	28年度	29年度
		1 施設修繕料	50	32
計	50	計	50	32

博物館費

節		説 明		
区分	金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費		
0 1 報酬	4,613	経費内訳	28年度	29年度
0 4 共済費	381	1 博物館協議会経費	311	293
0 7 賃金	6,697	2 施設運営費	62,850	48,492
0 8 報償費	14,588	(1) 資料収集保存経費	13,554	4,840
0 9 旅費	981	(2) 資料調査研究経費	2,210	1,845
1 1 需用費	96,899	(3) 展示・教育普及事業経費	12,120	7,289
1 2 役務費	1,287	(4) プラネタリウム事業経費	34,524	34,134
1 3 委託料	135,548	(5) その他運営費	442	384
1 4 使用料及び賃借料	11,428	3 施設維持管理費	186,953	193,928
1 8 備品購入費	5,459	4 市史編さん事業	25,964	24,787
1 9 負担金、補助及び交付金	730	(1) 相模原市史編さん費	17,126	9,620
2 7 公課費	17	(2) 津久井町史編さん費	8,838	15,167
		5 協働事業提案制度事業	600	0
		(1) 尾崎弔堂記念館活性化事業	600	0
		6 一般事務費	1,950	1,522
計	278,628	計	278,628	269,022
合計	278,678	合計	278,678	269,054

教育普及

1 入館者数

(1) 28年度計 125,194 人 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(2) 総計 2,731,308 人

(3) 詳細

月	入館者数	プラネタリウム総数	プラネタリウム内訳			特別展	星空観望会	講演会 講座等	観覧料	開館 日数	1日 平均
			一般投影	全天周 映画	学習投影						
4月	6,910	2,217	1,322	769	126	4,207	118	439	¥694,670	26	266
5月	9,540	3,631	2,301	1,004	326	4,418	107	1,021	¥1,147,910	25	382
6月	9,765	3,596	1,458	983	1,155	6,177	103	571	¥977,770	26	376
7月	19,103	8,471	3,675	3,902	894	6,811	157	1,617	¥2,500,090	27	708
8月	19,385	10,962	4,822	6,103	37	13,603	263	1,942	¥3,252,030	27	718
9月	9,081	3,703	2,415	828	460	3,745	132	900	¥1,182,400	25	363
10月	8,277	3,095	1,793	674	628	1,977	137	758	¥922,680	26	318
11月	10,912	5,255	1,278	468	3,509	7,995	72	1,904	¥562,040	24	455
12月	7,894	3,918	1,499	401	2,018	5,564	76	459	¥647,560	24	329
29年1月	7,433	3,302	2,010	536	756	5,149	161	1,077	¥850,930	22	338
2月	7,772	3,159	1,774	525	860	3,730	159	807	¥790,150	24	324
3月	9,122	3,505	2,159	882	464	4,907	130	672	¥1,040,650	27	338
28年度計	125,194	54,814	26,506	17,075	11,233	68,283	1,615	12,167	¥14,568,880	303	413

* (参考) 開館からの総計

7年度	78,395	38,262	16,796	12,688	8,778	22,199	618	836	¥11,099,520	107	733
8年度	125,599	58,023	26,849	20,571	10,603	36,682	1,237	3,186	¥18,187,120	300	419
9年度	105,793	43,355	18,654	16,055	8,646	28,388	1,104	3,167	¥12,233,880	300	353
10年度	107,306	45,038	18,577	17,747	8,714	24,779	624	5,696	¥12,820,900	299	359
11年度	115,031	53,660	20,759	23,651	9,250	36,670	665	5,255	¥15,325,720	295	390
12年度	111,161	46,879	17,302	18,777	10,800	31,658	634	5,258	¥11,921,600	302	368
13年度	132,776	59,062	20,169	28,312	10,581	57,647	910	4,574	¥14,329,780	305	435
14年度	119,068	48,791	19,702	18,277	10,812	55,672	925	4,277	¥12,221,160	303	393
15年度	126,120	53,625	18,655	24,859	10,111	51,538	1,133	6,873	¥13,904,050	302	418
16年度	111,610	45,780	19,555	16,139	10,086	39,551	1,050	5,148	¥11,562,090	300	372
17年度	116,552	52,466	19,404	22,223	10,839	47,479	844	5,725	¥12,776,280	301	387
18年度	113,605	52,948	16,783	25,516	10,649	49,588	773	6,896	¥14,321,720	303	375
19年度	122,375	49,875	15,973	23,156	10,746	58,218	925	8,245	¥13,369,000	304	403
20年度	128,124	52,294	18,612	22,017	11,665	58,436	1,294	11,517	¥13,831,800	303	423
21年度	136,000	50,540	16,458	23,109	10,973	64,653	1,846	9,681	¥13,679,160	303	449
22年度	182,880	78,991	22,457	44,068	12,466	103,988	1,861	6,249	¥25,095,880	301	608
23年度	137,608	61,648	24,887	24,099	12,662	70,716	1,283	9,438	¥17,780,860	306	450
24年度	138,619	55,377	30,731	12,011	12,635	68,305	2,228	9,100	¥15,274,420	307	452
25年度	138,660	55,905	26,798	16,260	12,847	76,722	2,369	10,114	¥15,334,880	306	453
26年度	126,631	51,816	21,996	18,588	11,232	66,370	1,998	11,344	¥13,971,950	303	418
27年度	132,201	53,432	23,030	19,518	10,884	71,865	1,685	10,114	¥14,303,490	304	435
28年度	125,194	54,814	26,506	17,075	11,233	68,283	1,615	12,167	¥14,568,880	303	413
総計	2,731,308	1,162,581	460,653	464,716	237,212	1,189,407	27,621	154,860	¥317,914,140	6,457	423

2 企画展等

(1) 考古企画展「相模原市の遺跡 2016 つくいの発掘 いくつも発見！」

ア 内容 津久井地域の旧石器時代から近世までの遺跡を紹介した。
また、最新の発掘調査速報展と市指定文化財に指定された考古資料の特別公開も同時に開催した。

イ 期間 3月19日(土)～5月8日(日)

ウ 観覧者 平成27年度 3,262人

平成28年度 5,997人

延べ 9,259人

エ 関連事業

展示解説

実施日 4月17日(日)・5月8日(日)

参加者 延べ95人

講師 当館学芸員

速報展「さがみはら発掘最新情報」調査成果発表会

実施日 4月17日(日)

講師 各発掘調査担当者

参加者 95人

ワークショップ 土器の塗り絵、ジグソーパズルなど

実施日 5月5日(木・祝)

参加者 321人

(2) 企画展「鳥の羽根、温かく、美しくまとうもの」

ア 内容 鳥がまとう羽。その美しさを機能や形の面白さとともに紹介した。

イ 期間 5月21日(土)～6月26日(日)

ウ 観覧者 延べ 8,805人

エ 関連事業

企画展ミュージアムトーク 「羽はかせ、羽を語る」

実施日 5月21日(土)

講師 藤井 幹さん

参加者 84人

「羽で描く伝統美 盆石実演」

実施日 6月12日(日)・18日(土)

講師 浮田 智恵子さん

参加者 延べ 133人

(3) 企画展 JAXA × 博物館「宇宙とつながる」写真展

ア 内容 美しく幻想的な宇宙の姿を写真パネルなどで紹介した。

イ 期間 7月23日(土)～9月4日(日)

ウ 観覧者 延べ 21,727人

エ 関連事業

対談講演会+ギャラリートーク「宇宙を写す～星景写真と観測画像～」

実施日 7月24日(日)

講師 大西浩次さん(日本星景写真協会副会長)

佐藤毅彦さん(JAXA宇宙科学研究所)

コーディネーター 大川 拓也さん(JAXA宇宙科学研究所)

参加者 73人

天文クイズラリー

実施日 8月14日(日)

参加者 375人

(4) 学芸員のタマゴがつくった展示～平成28年度博物館実習生展示～

ア 内容 歴史・民俗・生物・地質分野の博物館実習生がまとめた成果を紹介した。

イ 期間 9月17日(土)～10月16日(日)

ウ 観覧者 延べ 4,409人

エ 関連事業

展示解説

実施日 9月17日(土)・18日(日)

参加者 延べ 74人

ミニ展示「養蚕の御札」

内容 養蚕の信仰に係わる御札類を展示

期間 10月18日(火)～12月28日(水)

(5) 学習資料展「大地さんと未来さんが見つけるちょっと昔の暮らし」

ア 内容 小中学校の学習に役立てていただくために、博物館の収蔵品を通して「ちょっと昔の暮らし」を紹介した。

昭和40年頃の教室や居間を再現したジオラマやちょっと昔に使われていた道具を展示した。

イ 期間 11月1日(火)～平成29年2月19日(日)

ウ 観覧者 延べ 22,438人

エ 関連事業

チャレンジ体験コーナー(お手玉、ヨーヨー、けん玉など) 全8回

日時 11月6日(日)ほか

参加者 延べ 1,351人

(6) 考古企画展「相模原市の遺跡2017 博物館 de トレジャーハンター」

ア 内容 さまざまな時代の考古資料を12のテーマに沿って展示し、クイズに答えながら、子どもから大人まで楽しく相模原の歴史を学ぶことができる参加型なぞ解き展とした。また、近年行われた発掘調査の最新の成果を速報展として同時開催した。

イ 期間 平成29年3月18日(土)～5月7日(日)

ウ 観覧者 平成28年度 4,907人

平成29年度 8,815人

延べ 13,722人

エ 関連事業

博物館 de クイズラリー

日時 平成29年3月19日(日)ほか全8回

参加者 延べ 3,625人

記念講演会 「縄文世界の土偶 ～形の変化とその面白さ～」

講師 原田昌幸さん(文化庁主任文化財調査官)

日時 平成29年4月2日(日)

参加者 105人

さがみはら発掘調査成果発表会

日時 平成29年4月23日(日)

講師 各発掘調査担当者

参加者 105人

縄文ワークショップ

日時 平成29年5月5日(金・祝)

参加者 150人

ミュージアムトーク

日時 平成29年4月9日(日)・5月7日(日)

講師 当館学芸員

参加者 39人

図書館 × 博物館「博物館 de トレジャーハンター 図書館出張ミニ展示」
日 時 平成 29 年 4 月 1 日（土）～ 5 月 7 日（日）

3 講座・講演会・教室・観望会等の事業

（1）プラネタリウム おためしタイム（無料）

- ア 内容 日曜日・祝日の 12 時 10 分から「おためしタイム」として無料で約 10 分間の番組を投影した。 P P P 提案事業
イ 実施日 日曜・祝日 全 65 回
ウ 参加者 延べ 4,175 人

（2）養蚕講話（全 5 回）

- ア 内容 蚕の生態や養蚕に係わる歴史や文化など、多様な角度から養蚕について学んだ。
イ 実施日 5 月 14 日（土）・ 6 月 11 日（土）・ 7 月 9 日（土）・ 8 月 20 日（土）・
9 月 10 日（土）
ウ 参加者 延べ 292 人
エ 講師 当館学芸員及び神かおりさん（八王子市史専門調査員）・菊地原稔さん（津久井町史編集委員会委員）

（3）プラネタリウムお子さま無料デー

- ア 内容 5 月 18 日の「国際博物館の日」にちなみ、プラネタリウム・全天周映画を、4 歳～中学生は無料で開放した。
イ 実施日 5 月 14 日（土）・ 15（日） 全 10 回
ウ 参加者 延べ 231 人

（4）地質学講座「岩石学入門」（全 5 回）

- ア 内容 分類方法や成り立ち、特徴など、岩石の基本について学習した。
イ 実施日 5 月 15 日（日）・ 29 日（日）・ 6 月 12 日（日）・ 26 日（日）・ 7 月 10 日（日）
ウ 参加者 延べ 112 人
エ 講師 当館学芸員

（5）全天周映画「富士の星暦」スペシャル上映

- メイキング映像 & K A G A Y A 監督トークショー～世界の星空を求めて～
ア 内容 上映中の全天周映画「富士の星暦」の監督を招き、上映後にプラネタリウムでトークショーを開催した。
イ 実施日 5 月 21 日（土）
ウ 参加者 209 人

（6）プラネタリウム「はやぶさウィーク」

- ア 内容 6 月 13 日の「はやぶさの日」にちなみ「はやぶさ」関連のプラネタリウムと全天周映画を上映した。最終日の 6 月 12 日には、J A X A 研究開発員によるミニ解説付きで第 5 回目の上映を行った。
イ 実施日 6 月 4 日（土）～ 12（日）
ウ 観覧者 延べ 1,228 人

（7）写真展「最後の養蚕～平成 22 年 相模原市緑区根小屋中野～」

- ア 内容 平成 22 年に終了した緑区根小屋中野で行われた「最後の養蚕」の状況の写真を展示した。
イ 実施日 6 月 4 日（土）～ 8 月 31 日（水）

(8) 博物館DE星まつり！七夕でワッショイ！

ア 内 容 相模原の七夕に関するパネル展示を行った。笹飾りを用意し、願い事を書いた短冊を飾った。

イ 実施日 7月1日(金)～7月7日(木)

ウ 関連事業

ワークショップ「星のストラップ作り」

実施日 7月2日(土)・3日(日)

参加者 延べ 280人

(9) 博物館で楽しく学ぼう「夏休み子ども学習相談」

ア 内 容 夏休みの自由課題・研究などについて、学芸員や学習指導員がアドバイスをを行った。

イ 実施日 7月20日(水)～8月31日(水)

ウ 参加者 延べ 101人

エ 講 師 当館学芸員、学習指導員

(10) JAXA相模原キャンパス特別公開

ア 内 容 普段は見られない研究施設や最新の研究内容を、JAXAの研究員が分かりやすく解説するイベント。

博物館においては、ミニライブや講演会・トークイベント等を行った。

イ 実施日 7月29日(金)・30日(土)

ウ 入場者 延べ 5,796人

エ 当館事業

事業名 プラネタリウム・全天周映画 JAXA特集2Days

実施日 7月29日(金)・30日(土)

参加者 延べ 1,566人

事業名 「かっきー&アッシュポテトミニライブ」 全3回

実施日 7月30日(土)

参加者 延べ 204人

事業名 アstroバイオロジーと宇宙科学・特別講演会
「海と宇宙の生命探査最前線」

実施日 7月29日(金)

参加者 130人

事業名 トークイベント「理工系職員が語る私の仕事と生活」 全6回

実施日 7月29日(金)・30日(土)

参加者 延べ 354人

事業名 えがこう！月と火星のロボット・おうち 全2回

実施日 7月29日(金)

参加者 延べ 108人

(11) 子ども鉱物教室「鉱物のふしぎ」(全2回)

ア 内 容 ミョウバン結晶の育成実験や鉱物の硬さ比べなどを通して、鉱物についての初歩を学習した。

イ 実施日 7月31日(日) 8月7日(日)

ウ 参加者 延べ 47人

エ 講 師 当館学芸員、相模原地質研究会、相模原青陵高校地球惑星科学部

(12) 相模原市の動物写真展「里のいごこち」

ア 内容 カメラマンの松橋利光さんが捉えた、表情豊かな動物たちの写真を展示した。

イ 実施日 8月2日(火)～9月4日(日)

(13) 博物館DE夏まつり! 浴衣でワッショイ!

ア 内容 「伝統的七夕」にちなみ、相模原の七夕に関するパネル展示を行った。笹飾りを用意し、願い事を書いた短冊を飾った。8月6日に博物館を浴衣や甚平で来館した人はプラネタリウムを無料で観覧できることとした。

イ 実施日 8月2日(火)～9日(火)

ウ 参加者 127人(8月6日(土)全4回の無料観覧者数)

エ 関連事業

ワークショップ「星のストラップ作り」

参加者 延べ 160人

(14) 夏休み親子天文教室「手づくり天体望遠鏡」

ア 内容 親子で天体望遠鏡工作キットを組み立て、プラネタリウムで事前学習した後、共和小学校校庭で天体を観望した。

イ 実施日 8月6日(土)

ウ 参加者 26組63人

エ 講師 天文担当職員、プラネタリウム解説員、相模原市立博物館天文クラブ、市民学芸員

(15) 小中学生のための生物学教室「動物の体のつくりを学ぼう」

ア 内容 学校の理科の授業とは少し違った角度から、生き物の体のつくりや生態について学んだ。

イ 実施日 8月25日(木)

ウ 参加者 22人

エ 講師 当館学芸員

(16) 探検!クイズラリー!!(全2回)

ア 内容 自然・歴史及び天文展示室の内容を問題に設定し、クイズラリー形式で、小学生を中心とした来館者に展示内容を知ってもらう機会とした。

イ 実施日 8月27日(土)・28日(日)

ウ 参加者 延べ 768人

エ 案内 市民学芸員、インターンシップ

(17) 古代アクセサリー作り～勾玉など古代の首飾り作りにチャレンジしてみよう～

ア 内容 アクセサリー作りとともに、古墳時代の歴史も学習した。

イ 実施日 8月27日(土)

ウ 参加者 25人

エ 講師 当館学芸員・市民学芸員

(18) 町史講演会 津久井の歴史に触れる(全3回)

ア 概要 平成28年3月末に刊行した「津久井町史 通史編 原始・古代・中世」の中から主に原始時代及び津久井城に注目し、執筆者がその内容の一端をわかりやすく紹介した。

イ 実施日 8月28日(日)・10月22日(土)・11月26日(土)

ウ 参加者 延べ 155人

(19) 植物学教室「花の観察と植物画」(全2回)

- ア 内容 観察方法としての植物画を学ぶ、初心者向けの教室を開催した。
 イ 実施日 9月10日(土)・11日(日)
 ウ 参加者 延べ 48人
 エ 講師 豊田路子さん(植物画家)

(20) さがみはら宇宙の日

- ア 内容 毎月1回研究者を招き、講演やワークショップなどを開催した。奇数月には折々のテーマで開催し、偶数月には小惑星探査機「はやぶさ2」が目的地である小惑星 Ryugu(リュウグウ)に到達するまでの間、市民のみなさまの興味関心を深め、応援の気運を高めていくことを目的に、「はやぶさ2」トークライブを開催した。

- イ 実施日 4月23日(土) 「はやぶさ2」トークライブ VOL. 2
 「小惑星探査機はやぶさ2の往復航行を実現するイオンエンジン」
 5月28日(土) 「月のふしぎ あれこれ」
 6月12日(日) 「はやぶさ2」トークライブ VOL. 3
 「スペースガードにおける「はやぶさ」や「はやぶさ2」の役割」
 7月29日(金)・30日(土) プラネタリウム・全天周映画「JAXA特集 2 Days」
 8月21日(日) 「はやぶさ2」トークライブ VOL. 4
 「小惑星到着後の接近・降下・タッチダウンを実現する画像航法誘導制御」
 9月17日(土) トーク&トーク「なぜ人は月に惹かれるのか?」~百人一首から月探査まで~
 10月29日(土) 「はやぶさ2」トークライブ VOL. 5
 「はやぶさ2のG難度技-衝突装置(インパクト)」
 11月23日(水・祝) 宇宙フェスタさがみはら2016-生命の可能性を探る
 12月3日(土) 「はやぶさ2」トークライブ VOL. 6
 「「はやぶさ2」打ち上げ2周年記念トーク with スペシャルゲスト」
 1月14日(土) 「金星と“あかつき”の挑戦について学ぼう!」
 2月12日(日) 「はやぶさ2」トークライブ VOL. 7
 「「はやぶさ2」の地上系システムから探査機運用の仕組みまで」
 3月11日(土) 「まちだ・さがみはら 絆・創・光 × JAXA 相模原会場」

ウ 参加者・講師及び対応者

- 143人 西山和孝さん(JAXA宇宙科学研究所准教授)
 吉川真さん(JAXA宇宙科学研究所准教授、「はやぶさ2」ミッションマネージャ)
 細田聡史さん(JAXA宇宙科学研究所、「はやぶさ2」研究員)
 27人 山田陽志郎さん(元国立天文台職員)
 160人 吉川真さん(JAXA宇宙科学研究所准教授、「はやぶさ2」ミッションマネージャ)
 1,566人 プラネタリウム・全天周映画上映
 141人 照井冬人さん(JAXA宇宙科学研究所)
 吉川健人さん(JAXA宇宙科学研究所)
 吉川真さん(JAXA宇宙科学研究所准教授、「はやぶさ2」ミッションマネージャ)

- 細田聡史さん(J A X A 宇宙科学研究所、「はやぶさ 2」研究員)
1 2 4 人 大川拓也さん(J A X A 宇宙科学研究所 科学推進部 広報・普及担当)
武田早苗さん(相模女子大学学芸学部教授)
1 1 8 人 佐伯孝尚さん(はやぶさ 2 プロジェクトエンジニア)
吉川真さん(J A X A 宇宙科学研究所准教授、「はやぶさ 2」ミッションマネージャ)
3 0 0 人 渡邊誠一郎さん(名古屋大学大学院 環境学研究科教授)
中村智樹さん(東北大学大学院 環境学研究科教授)
臼井寛裕さん(東京工業大学 地球生命研究所特任准教授)
関根康人さん(東京大学大学院 理学系研究科准教授)
青野真士さん(東京工業大学 地球生命研究所准教授)
藤本正樹さん(J A X A 宇宙科学研究所教授)
1 5 9 人 津田雄一さん(J A X A 宇宙科学研究所「はやぶさ 2」プロジェクトマネージャ)
ラルフ・ヨーマンさん(ドイツ航空宇宙センター)
ステファン・ウラメックさん(ドイツ航空宇宙センター)
ジャン・ピエール・ビプリンさん(宇宙天体物理学研究所)
吉川真さん(J A X A 宇宙科学研究所准教授、「はやぶさ 2」ミッションマネージャ)
1 5 4 人 廣瀬史子さん(J A X A 宇宙科学研究所「あかつきプロジェクト」)
大川拓也さん(J A X A 宇宙科学研究所 科学推進部 広報・普及担当)
1 5 1 人 山田隆弘さん(J A X A 宇宙科学研究所教授)
鈴木亮さん(J A X A 宇宙科学研究所研究開発員)
5 8 人 曾根理嗣(J A X A 宇宙科学研究所准教授)
総計 3, 1 0 1 人

(2 1) 星空観望会

- ア 内容 季節に応じた天体観測により天文知識の普及を図った。
イ 実施回数 計 2 5 回(月 2 回金曜日または土曜日、8 月は 5 回開催・定員各回 1 2 0 人)
ウ 参加者 延べ 1, 6 1 5 人
エ 対応 当館職員、プラネタリウム解説員、星空観望会補助者、市民学芸員

(2 2) 生きものミニサロン(全 1 2 回)

- ア 内容 博物館周辺で身近な生きものを観察した。
イ 実施日 4 月 2 3 日(土) ~ 平成 2 9 年 3 月 2 5 日(土)
ウ 参加者 延べ 2 7 1 人
エ 講師 当館学芸員

(2 3) 原当麻周辺ぶらり歴史さんぽ ~ 中世のお城・館跡や古代遺跡をめぐる ~

- ア 内容 当麻城山、谷原古墳群など、約 4 k m の道のりを探訪した。
イ 実施日 9 月 1 1 日(日)
ウ 参加者 3 0 人
エ 講師 当館学芸員・博物館実習生

(2 4) 第 2 回中央地区「子どもと大人 共に学ぶ宇宙教室」公開講座

- ア 内容 相模原市中央区中央地区の宇宙教室実行委員会が開催する上記事業の、全 5 回のうち と を当館での公開講座として実施。
イ 実施日 9 月 1 7 日(土) トーク&トーク「なぜ人は月に惹かれるのか？」
~ 百人一首から月探査まで ~
参加者 1 2 4 人

平成 29 年 1 月 14 日 (土) 「金星と “あかつき” の挑戦について学ぼう！」

参加者 154 人

平成 29 年 2 月 18 日 (土) 「太陽について学ぼう！」

参加者 89 人

- ウ 講師 武田早苗さん (相模女子大学学芸学部教授)
廣瀬史子さん (JAXA 宇宙科学研究所「あかつきプロジェクト」)
殿岡英顕さん (科学衛星運用・データ利用ユニット主任研究開発員)
大川拓也さん (JAXA 宇宙科学研究所広報担当)
- エ 主催 宇宙教室実行委員会
- 共 催 JAXA、相模原市教育委員会、中央地区社会福祉協議会、中央地区民生委員、
児童委員協議会
- 後 援 相模原市中央区役所

(25) 市史講演会 相模原の仏像-市史文化遺産編の社寺調査から-

ア 内容 旧市内の寺院に伝えられた仏像彫刻の特徴を、市史「文化遺産編」の調査結果を基にして講演を行った。

イ 実施日 9 月 25 日 (日)

ウ 参加者 141 人

エ 講師 薄井和男さん (相模原市史文化遺産部会員、神奈川県立歴史博物館館長)

(26) 勝坂遺跡発見 90 周年記念事業ミニ展示 「大山 柏公爵の勝坂遺跡初調査」

ア 内容 大正 15 年に大山 柏が行った勝坂遺跡の発掘調査の報告書や大山史前学研究所の調査道具などを展示した。

イ 期間 10 月 1 日 (土) ~ 12 月 28 日 (水)

ウ 関連事業

記念講演会「縄文人は植物を栽培したのか？」

実施日 10 月 23 日 (日)

講師 工藤雄一郎さん (国立歴史民俗博物館准教授)

参加者 75 人

出張展示「大山 柏公爵の勝坂遺跡初調査」

内容 市文化財保護課が主催する「勝坂遺跡縄文まつり」の一ブースとして、出張ミニ展示を開催した。

実施日 11 月 3 日 (祝)

参加者 826 人

(27) 民俗講演会「相州大山信仰の展開と民俗」

ア 内容 県を代表する聖地の大山について、その信仰の広がりや民俗について考えた。

イ 実施日 10 月 16 日 (日)

ウ 参加者 92 人

エ 講師 田中宣一さん (成城大学名誉教授)

(28) 「火山灰を顕微鏡で見よう」

ア 内容 関東ローム層や日本各地の火山灰中に含まれる鉱物を顕微鏡で観察した。また、火山灰中に含まれる鉱物の洗い出し作業も体験した。

イ 実施日 10 月 23 日 (日)

ウ 参加者 77 人

エ 講師 当館学芸員、相模原地質研究会、相模原青陵高校地球惑星科学部、弥栄高校サイエンス部、首都大学東京都市環境学部

(29) 歴史講座 長尾景春の乱と関連城めぐり (全 3 回)

ア 内容 相模原市が戦いの舞台の一つとなった室町時代の長尾景春の乱や、その鎮静に活躍した太田道灌についての座学と、磯部城や小沢城 (愛川町) の探訪を行う

た。

- イ 実施日 10月29日(土)・11月5日(土)・11月12日(土)
- ウ 参加者 延べ70人
- エ 講師 当館学芸員

(30) 考古学連続講座 ～考古担当学芸員が語る市内の遺跡～

- ア 内容 指定・登録文化財の考古資料による相模原市の歴史や、相模川流域、境川流域、津久井の各地域の遺跡紹介、市内の考古学史、発掘調査史等について紹介した。
 - 第1回 「指定・登録文化財の考古資料で語る相模原市の歴史」
 - 第2回 「相模原の遺跡紹介 -相模川流域の遺跡-」
 - 第3回 「相模原の遺跡紹介 -境川流域の遺跡-」
 - 第4回 「相模原の遺跡紹介 -津久井地域の遺跡-」
 - 第5回 「相模原市の考古学史・発掘調査から語る市内の歴史」
- イ 実施日 10月30日(日)・11月6日(日)・12月4日(日)・12月18日(日)・平成29年1月15日(日)
- ウ 参加者 延べ 332人
- エ 講師 文化財保護課学芸員・当館学芸員

(31) 民俗探訪会「鳩川に沿って歩く」

- ア 内容 市民ボランティアの民俗調査会と学芸員が、上溝・下九沢地区の神社や寺院、石仏などを案内した。
 - イ 実施日 11月9日(水)
 - ウ 参加者 38人
 - エ 講師 当館学芸員及び民俗調査会A
- なお、本探訪会は5月11日(水)にも予定されていたが、雨のため中止となった。

(32) 学びの収穫祭

- ア 内容 博物館を拠点に活動するボランティアグループや、学芸員が関わる部活動に参加する中高生が、日頃の活動の成果を発表した。
- イ 実施日 11月19日(土)・20日(日)
- ウ 参加者 延べ 290人
- エ 関連事業「昼間の星空観望会」
実施日 11月20日(日)参加者 85人

(33) 「宇宙の日」記念行事全国小・中学生作文絵画コンテスト授賞式

- ア 内容 当館からは小・中学生作文絵画コンテストにおいて、14名の入賞者を選出した。このうち、小学生作文の部で最優秀賞を受賞した作品は、今年度、日本宇宙フォーラム理事長賞を受賞した。これを記念し、学びの収穫祭の展示発表会場で授賞式を開催した。
また、入賞作を1月7日までエントランスに展示した。
- イ 実施日 11月20日(日)
- ウ 参加者 54人
- エ 主催 文部科学省、国立天文台、JAXA

(34) 「宇宙フェスタさがみはら2016-生命の可能性を探る」

- ア 内容 気鋭の研究者5人が宇宙における生命の可能性をテーマに語る「講演とトークバトル」や最先端の科学から音楽、ミニ工作などで宇宙を堪能した。
講演とトークバトル「生命の可能性を探る」
気鋭の研究者が太陽系探査で切り拓く新たなフロンティアについて語った。
登壇者：渡邊誠一郎さん(名古屋大学大学院 環境学研究科教授)
中村智樹さん(東北大学大学院 環境学研究科教授)
臼井寛裕さん(東京工業大学 地球生命研究所特任准教授)

関根康人さん（東京大学大学院 理学系研究科准教授）
青野真土さん（東京工業大学 地球生命研究所准教授）
進行役：藤本正樹さん（JAXA宇宙科学研究所教授）
参加者 300人

宇宙と音楽の夕べ@プラネタリウム

映像と桜美林大学音楽専攻の学生による生演奏。

参加者 200人

空の星を見上げてみよう～星空観望会 特別バージョン～

当日の夜空の星をJAXA職員が解説した（当日は曇天のため座学とした）。

参加者 30人

特設「星のステージ」

桜美林大学、「ふちのべ大学」、弥栄高校による演奏や実験、市民学芸員による紙芝居や星のストラップ作り、玉手箱弁当販売等を行った。

参加者 670人

イ 実施日 11月23日（水・祝）

ウ 主催 宇宙フェスタさがみはら実行委員会（読売新聞東京本社、JAXA宇宙科学研究所、桜美林大学、にこにこ星ふちのべ商店会、相模原市立博物館、相模原市）

（35）クリスマスコンサート 「星降る夜の音楽祭」

ア 内容 プラネタリウムで、クリスマスの夜の星空をながめながら、星空解説にあわせて、ほんわか陽気なラテンの世界をつくる「チャランガぽよぽよ」の生演奏を楽しんだ。PPP提案事業

イ 実施日 12月10日（土）

ウ 参加者 211人

（36）生物講演会「うなぎの科学 食卓を守る海洋生物学者の眼」

ア 内容 食材としてのうなぎが実は絶滅危惧種であり、水産資源問題が食卓に直結するという話題を取り上げた。

イ 実施日 12月11日（日）

ウ 参加者 36人

エ 講師 吉永龍起さん（北里大学海洋生命科学部准教授）

（37）ミニ展示「養蚕が描かれた書」

ア 内容 近世を代表する『養蚕秘録』と明治を代表する『養蚕新論』の中で描かれている図を展示した。

イ 実施日 平成29年1月18日（水）～3月12日（日）

（38）「いろいろな砂を顕微鏡で見よう」

ア 内容 日本各地の砂の粒の違いや、砂漠の砂や南極の砂などを顕微鏡で観察した。

イ 実施日 平成29年1月22日（日）

ウ 参加者 113人

エ 講師 当館学芸員、相模原地質研究会、相模原青陵高校地球惑星科学部、弥栄高校サイエンス部

（39）「かんじる学校 特別編 星空えほん会（相模原市立博物館・プラネタリウム）」

ア 内容 博物館のプラネタリウムで星空にちなんだ絵本の朗読を行った。

天空には絵本のイラストが映し出され、3人の俳優と1人の舞台音楽家が絵本の世界を楽しみ音楽と一緒に届けた。

イ 実施日 平成29年1月28日（土）

ウ 出演者 舞台音楽家：棚川寛子さん

俳優：松田弘子さん、加藤幸夫さん、森山冬子さん

エ 参加者 143人
オ 共催 (公財)相模原市民文化財団、相模原市立博物館

(40) 歴史講演会「相模原と近代神奈川」

ア 内容 幕末・維新时期から明治前半の相模原周辺及び神奈川の様子について、この地域がどのように近代の幕を開けたかなどの講演を行った。
イ 実施日 平成29年1月29日(日)
ウ 参加者 155人
エ 講師 松尾正人さん(中央大学文学部教授)

(41) 「繭うさぎ作り」

ア 内容 市民学芸員の指導のもと、繭うさぎを作成した。
イ 実施日 平成29年2月5日(日)
ウ 参加者 200人
エ 講師 市民学芸員

(42) 民俗講話「民俗文化から見た相模原」～東の雑煮の餅は角餅、西は丸餅?～(全2回)

ア 内容 地域に伝えられてきたさまざまな民俗を通して、相模原の特徴を紹介した。
イ 実施日 平成29年2月18日(土)・3月18日(土)
ウ 参加者 延べ 125人
エ 講師 当館学芸員

(43) 研究機関等公開講座 宇宙航空研究開発機構コース

狙ったところへ、正確に～小型月着陸実証機「SLIM」のご紹介

ア 内容 月面着陸の技術開発について講演を行った。
イ 実施日 平成29年3月4日(土)
ウ 参加者 58人
エ 講師 坂井真一郎さん(JAXA宇宙科学研究所准教授)
オ 共催 総合学習センター・相模原市立博物館

(44) ライトダウン～まちだ・さがみはら 絆・創・光～

ア 内容 市民・事業者・行政が手を携えて協働し【絆】、節電など一人ひとりができることを考え【創】、街ぐるみで消灯し、星空を見上げることで【光】、震災からの更なる前進を祈るとともに、地球環境について考え、節電や省エネ行動につなげていくもので、町田市と相模原市で連携し、ライトダウンを行った。
イ 実施日 平成29年3月11日(土)
ウ 実施区域 相模原市・町田市全域
エ 関連事業 「まちだ・さがみはら 絆・創・光×JAXA」相模原会場
講演 「宇宙探査から地球環境を考える」
～「はやぶさ」地球帰還から、その後～
プラネタリウム投影「星空とともに」
学習会 「今の季節に見られる天体と光害について」
講師 高木右京さん(プラネタリウム解説員)
星空観望会「月とオリオン大星雲」
参加者 延べ58人
オ 共催 町田市・相模原市

(45) ミニ展示「カイコの世界 天からのおくりもの」

ア 内容 博物館からカイコの卵の提供を受けた市立大野小学校3年3組の児童が、継続してたくさんのカイコを育て、その繭をさまざまな作品として仕上げた成果を展示した。

- イ 開 期 平成 29 年 3 月 11 日 (土) ~ 4 月 9 日 (日)
- ウ 会 場 博物館 1 階常設展示室入口付近
- エ 展示内容 「蚕の一生」・「蚕のからだのつくり」・「カイコの品種について」
「命ってすごい」など
- オ 展示解説 3 月 26 日 (日)
大野小学校 3 年 3 組の児童による展示解説と歌
参加者 120 人
- その他、常設展示室内の清水家模型前で養蚕をテーマとした以下のミニ展示を実施した。
これらの展示に際しては、市民学芸員有志による展示替え検討会参加者ととも企画・
作業を行った。
- 6 月 4 日 (土) ~ 8 月 31 日 (水) 「最後の養蚕」写真展
10 月 19 日 (水) ~ 12 月 28 日 (水) 「養蚕の信仰」
平成 29 年 1 月 18 日 (水) ~ 3 月 20 日 (月・祝) 「養蚕が描かれた資料」

(46) 鈴木重光絵はがきコレクション巡回展

- ア 内 容 旧内郷村 (現在の緑区若柳・寸沢嵐) の郷土史家鈴木重光氏が収集した約
12,000 枚もの絵はがきの内、津久井地域の写真が描かれたものの一部を展示
した。
- イ 期 間 平成 29 年 2 月 18 日 (土) ~ 3 月 19 日 (日)
平成 29 年 3 月 25 日 (土) ~ 4 月 23 日 (日)
- ウ 会 場 博物館 1 階常設展示室出口付近
尾崎琴堂記念館 多目的室
- エ 展示内容 額に入れた絵はがきを津久井の山・川などのテーマ別に展示。
絵はがきの写真の場所を現在の写真と比較して展示。
123 組ある綴り「絵はがき帖」のうち数点を開いた状態で展示。

(47) 吉野宿ふじや活用事業「甲州道中と半原宮大工作品展」

- ア 内 容 江戸の幕末から昭和にかけて半原宮大工の矢内家が携わった甲州道中周辺の
寺社、神輿についての展示と宮大工の匠の技や道具の展示。
- イ 期 間 7 月 15 日 (金) ~ 8 月 31 日 (水)
* 8 月 6 日 (土) に協力者鈴木光雄氏の講話を開催
- ウ 会 場 吉野宿ふじや
- エ 来場者 延べ 449 人
- オ 協力者 鈴木光雄氏、ふじの里山くらぶ、藤野観光協会

(48) 吉野宿ふじや活用事業「蚕の飼育とミウルづくり」

- ア 内 容 かつて藤野地区で盛んだった養蚕の飼育体験とその歴史を学ぶ。
合わせて、繭玉を使った緑区のキャラクターであるミウルづくりを楽しんだ。
- イ 期 間 7 月 30 日 (土) ~ 8 月 31 日 (水)
- ウ 会 場 吉野宿ふじや
- エ 来場者 延べ 343 人 内ミウルづくり参加：20 組 40 人
- オ 協力団体 ふじの里山くらぶ、藤野観光協会

(49) 吉野宿ふじや活用事業「藤野の古道と美しいやまなみ展」

- ア 内 容 ・甲州裏街道、甲州古道及び藤野の 15 名山の紹介。
・四季を通した陣馬山茶店からの貴重なスケッチ絵の紹介。
・歴史ある地元山岳愛好者の活動記録などを紹介。
- イ 期 間 10 月 5 日 (水) ~ 平成 29 年 1 月 25 日 (水)
- ウ 会 場 吉野宿ふじや
- エ 来場者 延べ 1,099 人
- オ 協力団体 陣馬の茶店清水茶屋、藤野山岳協会、ふじの里山くらぶ、藤野観光協会

(50) 吉野宿ふじや活用事業 「藤野のおひなさま」

- ア 内容 藤野地域に伝えられた、昭和の古いおひなさまを展示し、おひなさまを鑑賞して風情を味わう。
- イ 期間 平成29年2月15日(水)～3月25日(土)
- ウ 会場 吉野宿ふじや
- エ 来場者 延べ 395人
- オ 協力者 ふじの里山くらぶ、藤野観光協会

4 プラネタリウム・全天周映画

(1) 平成28年度観覧者合計 54,814人

(2) 一般投影(プラネタリウム)

- ア 内容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成(所要約40分)
- イ 番組 もっと知りたい!宇宙のハテナ
4月1日(金)～5月8日(日)
火星接近2016
5月10日(火)～7月10日(日)
まだ見ぬ星をめざして～「はやぶさ2」新たなる旅立ち～[リバイバル]
6月4日(土)～6月12日(日)
ニューホライズンズが見た冥王星
7月12日(火)～9月25日(日)
金星探査機あかつきの挑戦～5つの搭載カメラが狙うもの～
7月29日(金)～7月30日(土)
もっと宇宙へ!日本の太陽系探査
7月29日(金)～7月30日(土)
美しい銀河世界への旅
9月27日(火)～12月11日(日)
ハッブル宇宙望遠鏡が見た世界
12月13日(火)～平成29年2月12日(日)
火星の月をさぐる
平成29年2月14日(火)～3月31日(金)
- ウ 観覧者 延べ 13,294人

(3) 一般投影(こどもプラネタリウム)

- ア 内容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成(所要約40分)
親子と一緒にプラネタリウムを楽しめる番組として、平成23年度から新規に投影を開始した。
- イ 番組 リーベルタース天文台だより 春の星座の物語
4月1日(金)～5月29日(日)
平成29年3月4日(土)～3月31日(木)
みみずく探査機ほうほうの旅・ピーターパンのぼうけん・ぼくらのうちゅうりょこう～ダーツでめぐる銀河の旅～・おしえて!さがぼん お月さまってなぁに?・ワクワクさがぼん!惑星めぐり
5月14日(土)・5月15日(日)
リーベルタース天文台だより 夏の星座の物語
6月18日(土)～8月31日(水)
リーベルタース天文台だより 秋の星座の物語
9月3日(土)～11月27日(日)
リーベルタース天文台だより 冬の星座の物語
12月3日(土)～平成29年2月26日(日)

ウ 観覧者 延べ 8,786人

(4) 一般投影 (星空模様)

ア 内容 解説員による季節の星空解説 (所要約 40分)

春:平成 28年 4月 1日(金) ~ 5月 29日(日)

平成 29年 3月 4日(土) ~ 3月 31日(金)

夏:平成 28年 6月 18日(土) ~ 7月 10日(日)

秋:平成 28年 9月 3日(土) ~ 11月 27日(日)

冬:平成 28年 12月 3日(土) ~ 平成 29年 2月 26日(日)

イ 観覧者 延べ 4,426人

(5) 全天周映画

ア 内容 大型映像の全天周映画作品を上映

イ 番組 富士の星暦

平成 28年 4月 1日(金) ~ 7月 15日(金)

平成 28年 9月 1日(木) ~ 平成 29年 3月 31日(金)

HAYABUSA 2 RETURN TO THE UNIVERSE

平成 28年 6月 4日(土) ~ 6月 12日(日)

平成 28年 7月 29日(金) ~ 7月 30日(土)

HAYABUSA BACK TO THE EARTH 帰還バージョン DC 版

平成 28年 6月 4日(土) ~ 6月 12日(日)

平成 28年 7月 29日(金) ~ 7月 30日(土)

HAYABUSA BACK TO THE EARTH 2009年版

平成 28年 6月 4日(土) ~ 6月 12日(日)

オーロラを見た恐竜たち

平成 28年 7月 16日(土) ~ 8月 31日(水)

かいけつゾロリ うちゅうの勇者たち

平成 28年 7月 16日(土) ~ 8月 31日(水)

ウ 観覧者 延べ 17,075人

(6) 投影等開始時間

平日(火~金(特別上映期間を除く))

午後 2時 40分・午後 3時 50分

土・日・祝日及び特別上映期間

午前 11時 00分・午後 1時 30分・午後 2時 40分・午後 3時 50分

(7) 学習投影

ア 内容 小中学校、幼稚園・保育園の団体観覧用の番組

イ 番組 小中学校向け「今晚の星空」

「空を見上げて(夏・冬)」

「宇宙への旅」

幼児向け「今晚の星空」

「うちゅうの七にんきょうだい」

「ピーターパンのぼうけん」

「ぼくらのうちゅうりょこう~ダーツでめぐる銀河の旅~」

「おしえて!さがぼん お月さまってなぁに?」

「おしえて!さがぼん 宇宙のおしごと」

「おしえて!さがぼん お日さまって何いろ?」

「おしえて!さがぼん 星空あそび」

「ワクワクさがぼん!惑星めぐり」

ウ 投影時間 事前に利用団体と調整し、平日の午前 1 回、午後 1 回投影

エ 観覧者 延べ 11,233人

(8) 広 報

プラネタリウム・全天周映画番組ごとに案内ポスター・チラシを作成し小中学校や報道機関等に発送。博物館ホームページや広報さがみはらに番組内容を掲載。

5 情報サービスコーナー

ビデオ作品年間視聴回数	計	96回
DVDライブラリー作品年間視聴回数	計	236回

6 学校と博物館の連携を進める研究会

(1) 趣 旨

学校教育の場で児童・生徒の多様な学習要求に応じた幅広い学習活動充実のために、博物館の効率的かつ積極的な利用を図り、博物館の持っている機能を十分に生かす学校と博物館の連携のあり方を研究・協議する機関。

(2) 委員構成

任期2年(平成28年7月1日~平成30年6月30日) 委員長 副委員長

氏 名	備 考
坂本 実	由野台中学校教諭
尾崎 昭弘	上鶴間小学校教諭
金子 明弘	新宿小学校教諭
澤井 勇水	桂北小学校教諭
横田 諒太	相模台小学校教諭
奥山 和音	田名中学校教諭
大森 英人	麻溝台中学校教諭

(3) 活動状況

開催日	おもな内容
7月27日(水)	委嘱状交付、第10期研究会の研究テーマの検討
11月10日(木)	貸出しキットを用いた授業プラン作成の書式検討
平成29年2月3日(金)	貸出しキットを用いた授業プランの検討

7 広報・出版等

(1) 印刷物・刊行物

- ア 企画展・学習資料展のポスター・パンフレット等
- イ プラネタリウム・全天周映画のポスター・チラシ等
- ウ 研究報告

(2) 有償刊行物一覧 (平成29年3月31日現在)

博物館と市役所行政資料コーナーで販売 売上総計 709,270 円
 博物館 図録・報告書等売上
 合計 52冊 28,120 円

ア 特別展・企画展図録等

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
郷土の巨匠・岩橋英遠展	¥1,000	H 7 . 11	完売
江南の至宝	¥1,300	H 8 . 2	完売
相模原の昆虫 - 身近にいる小さな仲間たち -	¥350	H 8 . 4	完売
日本の宇宙開発	¥1,000	H 8 . 11	完売
絵図から地形図へ - 近代地形図の誕生と発展 -	¥2,550	H 9 . 7	完売
太陽系 - 母なる太陽とその家族を巡る -	¥700	H 9 . 11	完売
浮世絵名品展	¥1,800	H 10 . 9	完売
水生昆虫の世界 - 水の中の小さな虫たち -	¥1,200	H 11 . 7	完売
描かれた農耕の世界	¥1,500	H 11 . 10	完売
花を描き、花を知る - 植物画の魅力 -	¥1,200	H 12 . 7	完売
幕末・維新の相模原 - 村の殿様 旗本藤澤次謙と村人たち -	¥1,500	H 12 . 10	完売
星の測量 - 角度をはかり、位置をもとめる -	¥700	H 13 . 7	5
“道”再発見 - 道の役割とその移りかわり -	¥1,500	H 13 . 10	完売
昆虫のふしぎ	¥500	H 14 . 7	3
水晶ってすばらしい! - その美と実用の魅力 -	¥1,000	H 15 . 7	1
晃嶺の百花譜	¥1,500	H 16 . 7	0
相模原 - その開発と変貌 -	¥800	H 16 . 10	6
地球 46 億年	¥900	H 17 . 7	3
相模川・桂川流域の縄文時代	¥950	H 18 . 10	完売

イ 報告書等

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
研究報告第 7 集 1999	¥850	H 10 . 3	完売
研究報告第 8 集 2000	¥850	H 11 . 3	完売
研究報告第 9 集 2001	¥900	H 12 . 3	完売
研究報告第 10 集 2002	¥900	H 13 . 3	完売
研究報告第 11 集 2002	¥850	H 14 . 3	完売
研究報告第 12 集 2003	¥900	H 15 . 3	0
研究報告第 13 集 2004	¥900	H 16 . 3	0
研究報告第 14 集 2005	¥900	H 17 . 3	0
研究報告第 15 集 2006	¥1,050	H 18 . 3	0
研究報告第 16 集 2007	¥1,150	H 19 . 3	0
研究報告第 17 集 2008	¥1,150	H 20 . 3	0
研究報告第 18 集 2009	¥700	H 21 . 3	0
研究報告第 19 集 2010	配布のみ	H 22 . 3	-
研究報告第 20 集 2012	配布のみ	H 24 . 3	-
研究報告第 21 集 2013	配布のみ	H 25 . 3	-
研究報告第 22 集 2014	配布のみ	H 26 . 3	-
研究報告第 23 集 2015	配布のみ	H 27 . 3	-
研究報告第 24 集 2016	配布のみ	H 28 . 3	-

研究報告第 25 集 2017	配布のみ	H 29 . 3	-
相模原市民俗調査報告書 大島地区の自然と文化	¥900	H 10 . 3	完売
地図資料目録 一般図・主大図・地形図	¥1,200	H 12 . 3	完売
桐生亮コレクション標本目録	¥1,150	H 13 . 3	完売
相模原市民俗調査報告書 大島・上矢部・田名・上溝・当麻地区の民俗	¥600	H 14 . 3	8
資料目録 4 テフラ標本目録	¥850	H 15 . 3	2
資料目録 5 相模原植物誌	¥600	H 15 . 3	2
古淵 B 遺跡旧石器時代資料再整理調査報告書	¥850	H 17 . 3	0
博物館所蔵古文書目録	¥900	H 17 . 3	2
境川流域民俗調査報告書	¥500	H 17 . 3	完売
博物館資料調査報告書 相模川の水生昆虫	¥1,700	H 20 . 3	1
さがみはら自然ガイド カエル見つけた!!	¥180	H 21 . 5	19

ウ 展示解説書

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
常設展示解説書	¥1,000	H 8 . 11	完売

合 計	¥ 28,120	52
-----	----------	----

市史・町史

博物館と市役所行政資料コーナー及び市書店協同組合加盟店で委託販売

市史・町史合計 292冊 681,150 円

ア 相模原市史

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
相模原市史 第 1 巻 (中世以前通史)	¥2,300	S 39 . 11	1
相模原市史 第 2 巻 (近世通史)	¥3,400	S 42 . 3	1
相模原市史 第 3 巻 (近代通史)	¥2,800	S 44 . 2	1
相模原市史 第 4 巻 (現代通史)	¥3,200	S 46 . 3	3
相模原市史 第 5 巻 (中世・近世資料集)	¥4,500	S 40 . 11	1
相模原市史 第 6 巻 (近代資料集)	¥3,200	S 43 . 2	0
相模原市史 第 7 巻 (別編)	¥1,900	S 47 . 3	0
相模原市史 現代図録編	¥1,500	H 16 . 11	13
相模原市史 現代資料編	¥3,700	H 20 . 3	3
相模原市史 自然編	¥3,400	H 21 . 5	18
相模原市史 民俗編	¥2,550	H 22 . 3	8
相模原市史 民俗編 DVD 版	¥1,550	H 22 . 3	2
相模原市史 現代通史編	¥2,100	H 23 . 3	5
相模原市史 考古編	¥2,650	H 24 . 3	21
相模原市史 現代テーマ編	¥2,310	H 26 . 3	9
相模原市史 文化遺産編	¥3,060	H 27 . 3	16
相模原市史 ノート創刊号	¥350	H 16 . 3	5
相模原市史 ノート 2 号	¥700	H 17 . 3	2
相模原市史 ノート 3 号	¥600	H 18 . 3	1
相模原市史 ノート 4 号	¥600	H 19 . 3	1
相模原市史 ノート 5 号	¥600	H 20 . 3	0
相模原市史 ノート 6 号	¥700	H 21 . 3	2
相模原市史 ノート 7 号	¥700	H 22 . 3	0
相模原市史 ノート 8 号	¥650	H 23 . 3	1
相模原市史 ノート 9 号	¥700	H 24 . 3	1
相模原市史 ノート 10 号	¥700	H 25 . 3	1
相模原市史 ノート 11 号	¥700	H 26 . 3	1
相模原市史 ノート 12 号	¥700	H 27 . 3	7
相模原市史 ノート 13 号	¥700	H 28 . 3	18
相模原市史 ノート 14 号	¥720	H 29 . 3	0
相模原市史調査報告書 1 旧石器時代遺跡資料調査報告書	¥1,400	H 19 . 3	1
相模原市史調査報告書 2 動植物調査目録	¥2,400	H 21 . 3	2

相模原市史調査報告書 3 相模原周辺の関東ローム層中の植物珪酸体からみた過去8万年間の気候植生変化史	¥1,500	H 21 . 3	2
相模原市史調査報告書 4 相模原市地域の第 4 紀地史研究のための指標テフラ(火山灰)	¥2,300	H 21 . 3	3
相模原市史調査報告書 5 縄文時代遺跡資料調査報告書	¥1,000	H 21 . 3	2
相模原市史調査報告書 6 勝坂有鹿谷祭祀遺跡資料報告書	¥1,350	H 22 . 3	2
相模原市史調査報告書 7 当麻山無量光寺歴代人墓所石造塔婆群調査報告書	¥1,200	H 23 . 3	0
合 計	¥320,600		154

イ 城山町史

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
城山町史 1 資料編 考古・古代・中世	¥7,000	H 4 . 3	0
城山町史 2 資料編 近世	¥6,000	H 2 . 3	0
城山町史 3 資料編 近現代	¥7,000	H 5 . 3	0
城山町史 4 資料編 民俗	¥5,150	S 63 . 3	0
城山町史 5 通史編 原始・古代・中世	¥3,500	H 7 . 3	0
城山町史 6 通史編 近世	¥3,500	H 9 . 3	1
城山町史 7 通史編 近現代	¥3,500	H 9 . 3	1
城山風土記 1 近現代編	¥600	H 3 . 3	3
城山風土記 2 近世文書を読むために	¥700	H 6 . 3	5
城山風土記 3 九十歳の雑記帳	¥600	H 7 . 3	1
城山風土記 4 歴史・民俗編	¥600	H 8 . 8	4
城山風土記 5 町の歩みをふりかえる	¥600	H 9 . 3	10
城山町史資料所在目録 近世文書	¥3,600	S 60 . 3	0
城山町史資料所在目録 近現代文書・近世文書補遺	¥2,900	S 61 . 12	0
城山町史新聞記事目録	¥1,200	S 62 . 3	0
町史の窓(復刻版)	¥1,100	H 18 . 3	0
合 計	¥21,300		25

ウ 津久井町史

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
津久井町史 資料編 近世 1	¥2,000	H 16 . 3	3
津久井町史 資料編 考古・古代・中世	¥2,900	H 19 . 3	5
津久井町史 資料編 近代・現代	¥3,150	H 21 . 2	3
津久井町史 資料編 近世 2	¥3,550	H 23 . 3	2
津久井町史 自然編	¥3,690	H 25 . 3	8
津久井町史 通史編 近世・近代・現代	¥2,720	H 26 . 3	12
津久井町史 通史編 原始・古代・中世	¥2,620	H 28 . 3	41
ふるさと津久井 第 1 号	¥1,000	H 12 . 3	完売
ふるさと津久井 第 2 号 特集 山に生きる	¥1,000	H 13 . 3	完売
ふるさと津久井 第 3 号 (特別号)津久井の古地	¥1,000	H 14 . 3	完売
ふるさと津久井 第 4 号 特集 養蚕と織物(1)	¥1,000	H 15 . 9	完売
ふるさと津久井 第 5 号 特集 養蚕と織物(2)	¥750	H 24 . 3	13
ふるさと津久井 第 6 号	¥820	H 26 . 3	9
ふるさと津久井 第 7 号	¥790	H 29 . 3	0
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫」	¥1,700	H 16 . 3	0
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫」	¥1,500	H 20 . 3	0
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫」	配布のみ	H 24 . 3	0
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫」 CD版	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の植物」	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の植物」 CD版	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の動物」	¥720	H 25 . 2	2
津久井町史調査報告書「津久井町の気象」	¥1,840	H 25 . 2	0
津久井町史資料目録 公文書 1	¥2,300	H 22 . 3	1
津久井町史資料目録 公文書 2	¥1,700	H 24 . 3	1

津久井町史資料叢書 事務報告 1	¥1,850	H 22 . 3	0
津久井町史資料叢書 事務報告 2	¥1,850	H 22 . 3	0
合 計	¥229,200		100

エ 相模湖町史

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
相模湖町史 歴史編	¥14,000	H 13 . 3	4
相模湖町史 民俗編	¥5,600	H 19 . 2	2
相模湖町史 自然編	¥11,550	H 20 . 2	3
合 計	¥101,850		9

オ 藤野町史

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
藤野町史 資料編上	¥3,000	H 6 . 3	0
藤野町史 資料編下	¥3,000	H 6 . 3	1
藤野町史 通史編	¥4,000	H 7 . 3	1
ふじの町史 研究誌 (第 1 号)	¥600	H 2 . 3	0
ふじの町史 研究誌 (第 2 号)		H 4 . 2	完売
ふじの町史 研究誌 (第 3 号)	¥600	H 5 . 3	1
ふじの町史 研究誌 (第 4 号)		H 6 . 2	完売
ふじの町史 研究誌 (第 5 号)	¥600	H 8 . 3	1
合 計	¥8,200		4

(3) 広報活動

ア ポスター掲示

前述の各ポスターを、市各機関・近隣博物館等へ送付し、掲示を依頼した。

イ 記事提供

広報さがみはら、相模原記者クラブ、新聞・雑誌・タウン誌等のメディアなどへ記事・パンフレットなどの情報を提供した。

ウ 放送番組

NHK、J - COM、FMさがみなど、博物館や博物館の事業を紹介するテレビ・ラジオ番組の取材に対応した。また、FMさがみレギュラー枠「博物館探検隊」を月 1 回放送した。

エ 博物館資料の博物館外での常設展示

考古資料を史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館、史跡勝坂遺跡公園管理棟、夢の丘小学校、鳥屋出張所に年間を通じて貸出して展示に協力した。

オ 市立図書館の貸出期限票の裏面活用

図書館で資料を貸出す際に手渡す貸出期限票の裏面に博物館のイベントの内容を印刷し、配布を依頼した。

8 博物館学芸員実習

学芸委員資格取得のために実習として、8月3日～9月18日の内実質9日間に17人を受け入れた。分野別受入大学は以下のとおり。

分野	大 学	人 数	分野	大 学	人 数
歴史	駒澤大	1	生物	桜美林大	1
	法政大	2		東京農業大	1
	跡見女子学園大	1		横浜国立大	1
民俗	東洋大	1		北里大	1
	実践女子大	1	地質	桜美林大	2
	駒澤大	1		日本大	1
	東海大	1		東京都市大	1
			ユニバーサルデザイン	和光大	1

9 学習利用

学校及びそれに類する団体の利用（プラネタリウム学習投影、展示学習、職場体験）について、依頼に基づき博物館職員が対応した。

月	件数	人数	月	件数	人数	月	件数	人数	
4月	6	416	8月	5	117	12月	30	2,299	
5月	14	928	9月	12	608	1月	28	1,081	
6月	49	1,803	10月	25	989	2月	33	1,486	
7月	19	912	11月	56	3,719	3月	13	748	
							年計	290	15,106

10 インターンシップ

相模原市役所職員研修所の依頼により8月6日～28日のうちの4～5日間インターンシップとして、大学生4名を受け入れた。

桜美林大学の依頼により同大学学生2名を東京都 ECO-TOP インターンとして2月24日～3月10日の内、5日間受け入れた。

11 博物館職員の講師依頼等

市内各公民館・小中学校・高校・他自治体等で実施される講座・研修等について、依頼に基づき博物館職員を講師として派遣した（これに類するものも記載）。計80件
内訳 生物27件 歴史32件 地質7件 民俗8件 天文1件 考古4件 自然2件

	演 題 等	依頼者	分野	月 日	場 所	担 当
1	新採用職員研修「相模原の歴史」	職員研修所	歴史	4月5日（火）	けやき会館	木村弘樹
2	第1回環境学習セミナー	環境情報センター	生物	4月10日（日）	環境情報センター	秋山幸也
3	泥沼プロジェクト「ホーム/アンド/アウェイ」に伴う講について」	アトラボはしもと	民俗	4月16日（土）	アトラボはしもと	加藤隆志
4	「植物の観察法」	大井町	生物	5月8日（日）	四季の里	秋山幸也
5	勝坂昆虫観察会「勝坂遺跡周辺の昆虫を観察してみよう」	文化財保護課	自然	5月8日（日）	勝坂遺跡公園	守屋博文
6	「中世城館の歴史と発掘調査概要」	相模原市文化財調査・普及員 考古班	歴史	5月12日（木）	市立博物館	木村弘樹
7	出前授業「カイコのはなし」	大野小学校	生物	6月1日（水）	大野小学校	秋山幸也
8	出前授業「カイコのはなし」	大野台中央小学校	生物	6月1日（水）	大野台中央小学校	秋山幸也
9	「ホタル観賞会」	田名公民館	生物	6月3日（金）	望地キャンプ場周辺	秋山幸也

10	相模原市歴史講座「2町6か村・橋本編」	田名公民館	民俗	6月4日(土)	橋本公民館	加藤隆志
11	旧石器ハテナ館探訪「武士たちの史跡を訪ねて」	文化財保護課	生物	6月4日(土)	矢部～古淵	木村弘樹
12	出前授業「カイコのはなし」	二本松小学校	生物	6月7日(火)	二本松小学校	秋山幸也
13	出前授業「カイコのはなし」	星が丘小学校	生物	6月7日(火)	星が丘小学校	秋山幸也
14	「青根諏訪神社について」	青根小学校	歴史	6月8日(水)	青根諏訪神社	井上泰
15	「相模原が柴胡が原と呼ばれていた頃」	環境情報センター	生物	6月9日(木)	環境情報センター	秋山幸也
16	「津久井城の歴史と調査」	相模原市文化財調査・普及員 考古班	考古	6月9日(木)	市立博物館	中川真人
17	出前授業「カイコのはなし」	上溝小学校	生物	6月10日(金)	上溝小学校	秋山幸也
18	出前授業「カイコのはなし」	共和小学校	生物	6月14日(火)	共和小学校	秋山幸也
19	出前授業「カイコのはなし」	谷口台小学校	生物	6月16日(木)	谷口台小学校	秋山幸也
20	出前授業「カイコのはなし」	青葉小学校	生物	6月17日(金)	青葉小学校	秋山幸也
21	あさみぞガイド「麻溝地区の地形(地質)について」	麻溝まちづくりセンター	地質	6月22日(水)	麻溝まちづくりセンター	河尻清和
22	「弥栄ワンダーラボ」	弥栄高校	生物	6月25日(土)	市立博物館	秋山幸也
23	津久井城開城祭「撰文 200周年記念 築井古城記碑について」	(公財)神奈川県公園協会	歴史	6月26日(日)	津久井湖城山公園	木村弘樹
24	第8回アジア旧石器協会日本大会	日本旧石器学会	考古	6月27日(月)	田名向原遺跡旧石器時代学習館	中川真人
25	高齢者学級「相模原の歴史」	大野南公民館	歴史	6月30日(木)	大野南公民館	木村弘樹
26	麻布大学 地学巡検	麻布大学	地質	7月10日(日)	市立博物館	河尻清和
27	北里大学特別講義	北里大学	生物	7月12日(火)	北里大学	秋山幸也
28	「古墳時代に関する講座」	相模原市文化財調査・普及員 考古班	歴史	7月14日(木)	市立博物館	木村弘樹 ほか

29	中野歴史ウォーク「中野・川坂から又野へ」	中野小学校	歴史	7月25日(月)	川坂・又野地区周辺	井上泰
30	「田名地域の歴史」	田名公民館	歴史	7月28日(木)	田名公民館	木村弘樹
31	「八瀬川探検-川の生き物や自然を観察しよう-」	文化財保護課	生物	8月6日(土)	田名向原遺跡旧石器時代学習館	守屋博文
32	「地学実験」	東京電機大学	地質	8月24日(水)	市立博物館	河尻清和
33	青根歴史ウォーキング「青根に残る近世の信仰世界-上野田・大川原地区に残る諸社-」	青根小・中学校	歴史	8月29日(月)	青根中学校	井上泰
34	歴史講座「人々の生活と川」	大野台公民館	民俗	9月1日(木)	大野台公民館	加藤隆志
35	歴史講座「相模川を流通した特産物-薪・炭・木材・鮎・石材-」	大野台公民館	歴史	9月8日(木)	大野台公民館	井上泰
36	出前授業「昔の暮らし」	陽光台小学校	歴史	9月15日(木)	陽光台小学校	福井智之
37	出前授業「カイコのはなし」	作の口小学校	生物	9月15日(木)	作の口小学校	秋山幸也
38	出前授業「昔の暮らし」	富士見小学校	歴史	9月16日(金)	富士見小学校	福井智之
39	歴史講座「川の文化誌」	大野台公民館	民俗	9月22日(木)	大野台公民館	加藤隆志
40	出前授業「昔の暮らし」	橋本小学校	歴史	9月27日(火)	橋本小学校	福井智之
41	出前授業「昔の暮らし」	もえぎ台小学校	歴史	9月28日(水)	もえぎ台小学校	福井智之
42	さがみはら地域づくり大学「相模原市の文化」「相模原市の歴史」	相模原・町田大学コンソーシアム	歴史 民俗	10月5日(水)	ユニコムプラザさがみはら	木村弘樹 加藤隆志
43	新採用職員研修「10月」	職員課	歴史	10月5日(水)	けやき会館	木村弘樹
44	「秋季集中実験講座」	弥栄高校	生物	10月5日(水)	市立博物館周辺	秋山幸也
45	出前授業「昔の暮らし」	田名北小学校	歴史	10月6日(木)	田名北小学校	福井智之
46	「相模原再発見！」	富士見小学校	歴史	10月7日(金)	富士見小学校	木村弘樹
47	ボーイスカウト活動「自然観察」	日本ボーイスカウト神奈川連盟	生物	10月9日(日)	市立博物館周辺	秋山幸也
48	「富士山の噴火と相模原の地形」	小山公民館	地質	10月15日(土)	小山公民館	河尻清和
49	「地域の歴史を学ぶ」	青野原小学校	歴史	10月15日(土)	青野原地区内	井上泰

50	杜の学級「相模原市の地形と地質を学ぶ」	橋本公民館	地質	10月26日(水)	橋本公民館	河尻清和
51	出前授業「昔の暮らし」	夢の丘小学校	歴史	11月1日(火)	夢の丘小学校	福井智之
52	「国指定史跡勝坂遺跡と寒川町の縄文時代の遺跡について」	寒川町教育委員会	考古	11月5日(土)	寒川町文化財学習センター	中川真人
53	ふるさと談義「鳥屋 神さま 仏さま」	津久井生涯学習センター	歴史	11月6日(日)	鳥屋地区内	井上泰
54	「生物多様性からみたホタルと相模川」	上溝南高校	生物	11月8日(火)	上溝南高校	秋山幸也
55	田名シニアプラン「昭和の相模原と歴史～相模原変貌の歴史を探る」	田名公民館	民俗	11月11日(金)	田名公民館	加藤隆志
56	「国史跡川尻石器時代遺跡」	神奈川県考古学会	考古	11月13日(日)	横浜市歴史博物館	中川真人
57	「麻溝地区の歴史文化について」	麻溝小学校	歴史	11月17日(木)	麻溝小学校	木村弘樹
58	「与瀬神社と相模湖地域のお祭りの特徴」	相模湖公民館	民俗	11月22日(火)	相模湖公民館	加藤隆志
59	「相模川河岸段丘の地層について」	城山エコミュージアム運営委員会	地質	11月23日(水)	上大島キャンプ場周辺	河尻清和
60	「箱根地域自然に親しむ運動 箱根の冬鳥観察会」	(公財)神奈川県公園協会	生物	11月25日(金)	県立恩賜箱根公園及び周辺施設	秋山幸也
61	古民家園講演会「真田信繁(幸村)の岳父 謎多き義将大谷吉継」	文化財保護課	歴史	11月27日(日)	古民家園	木村弘樹
62	「自然保護活動の報告～みんなの参加を実現するために～」	桂川・相模川流域協議会	生物	11月27日(日)	ソレイユさがみ	秋山幸也
63	「ビオトープの再生と身近な自然保全について」	相模原青陵高校	生物	11月28日(月)	相模原青陵高校	秋山幸也
64	市民のための環境講座「生きものから見た相模川の魅力」	環境情報センター	生物	12月10日(土)	環境情報センター	秋山幸也
65	「大地のつくり」	藤野南小学校	地質	12月13日(火)	緑区名倉	河尻清和 福井智之
66	出張星空観望会	九沢小学校	天文	12月16日(金)	九沢小学校	福井智之
67	出前授業「昔の暮らし」	小山小学校	歴史	1月17日(火)	小山小学校	福井智之

68	出前授業「繭細工の作り方」	大野小学校	歴史	1月20日(金)	大野小学校	福井智之
69	「博物館展示作成物の心構え」	大野小学校	生物	1月26日(木)	大野小学校	秋山幸也
70	出前授業「昔の暮らし」	共和小学校	歴史	2月7日(火)	共和小学校	福井智之
71	出前授業「昔の暮らし」	相武台小学校	歴史	2月8日(水)	相武台小学校	福井智之
72	出前授業「昔の暮らし」	鶴の台小学校	歴史	2月9日(木)	鶴の台小学校	福井智之
73	出前授業「昔の暮らし」	東林小学校	歴史	2月10日(金)	東林小学校	福井智之
74	出前授業「昔の暮らし」	大野北小学校	歴史	2月16日(木)	大野北小学校	福井智之
75	出前授業「昔の暮らし」	千木良小学校	歴史	2月28日(火)	千木良小学校	福井智之
76	「地域の達人・トコロジストについて」	城山エコミュージアム運営委員会	生物	2月26日(日)	城山公民館	秋山幸也
77	「さがみはら伝説探訪 - 語り継がれる照手姫伝説ほか - 」	相模大野図書館	歴史	3月3日(金)	相模大野図書館	木村弘樹
78	「弥栄高校 理数科キャリア講演会」	弥栄高校	生物	3月16日(木)	弥栄高校	秋山幸也
79	「フィールドノートからはじまる生物多様性」	みんなで作る自然史博物館・香川	生物	3月18日(土)	サンポート高松	秋山幸也
80	民俗講座「野外フィールドワーク」	横浜市歴史博物館	民俗	3月26日(日)	横浜市緑区長津田～中山	加藤隆志

12 市民との協働

(1) 市民学芸員

ア 内容 学習資料展の企画・準備と関連事業運営、クイズラリー企画・運営、星空観望会補助等を実施した。また、有志による常設展示「自然・歴史展示室」の展示替えに向けての検討や一部キャプションなどの修正を行った。

イ 登録者 33人

ウ 参加者 延べ 785人

(2) さがみはら水生動物調査会

- ア 内容 相模原市内での水生動物の調査や講師派遣への協力を行った。
- イ 登録者 24人
- ウ 参加者 延べ 20人

(3) 相模原植物調査会

- ア 内容 市域の植物相調査を行うとともに、標本作製、整理を行った。また、中学生の職業体験や博物館実習生の標本取扱い等の指導を行った。
- イ 登録者 67人
- ウ 参加者 延べ 413人

(4) 相模原地質研究会

- ア 内容 市内および周辺地域の地質調査や資料整理を行った。地質学講座や子ども鉱物教室など地質分野の教育普及活動を当館学芸員と協働で行った。
- イ 登録者 18人
- ウ 参加者 延べ 127人

(5) 相模原縄文研究会

- ア 内容 市内の縄文時代などの遺跡の調査と資料整理を行った。また、学びの収穫祭や考古企画展関連事業として、ワークショップや活動紹介を博物館と協働で行った。その他、発掘調査現場や考古の展示に関連する視察研修などを実施した。
- イ 登録者 14人
- ウ 参加者 延べ 169人

(6) 民俗調査会 A

- ア 内容 市内外のフィールドワークを行いながら、中央区上溝～下九沢地区の「民俗探訪会」を実施した。また、横浜市歴史博物館「民俗に親しむ会」との交流会も行った。
- イ 登録者 15人
- ウ 参加者 延べ 121人（毎月一回実施しているフィールドワーク他の参加人数）

(7) 民俗調査会 B

- ア 内容 町田・八王子・横浜・川崎等を含む市内外のフィールドワークや祭礼行事の見学を行った。
- イ 登録者 25人
- ウ 参加者 延べ 173人（毎月一回実施しているフィールドワーク他の参加人数）

(8) 水曜会

- ア 内容 津久井郷土資料館（当時）に保管されていた鈴木重光氏が寄贈した資料のうち、未整理のものについての目録化などの作業を継続的に行っている。
- イ 登録者 18名
- ウ 参加者 延べ 408人（毎月2～3回程度実施している作業等に参加した人数）

(9) 相模原市立博物館天文クラブ

- ア 内容 博物館と協働して、金星の満ち欠け等、身近に起きる天文現象の記録化と資料化を図り、資料の保存事業や展示観測会等の教育普及事業に協力する活動を行った。
- イ 登録者 36人（平成29年3月末現在）
- ウ 参加者 延べ 56人（計9回実施された天体写真撮影及びその内容の記録化、資料化へ参加した人数）

(10) 福の会

- ア 内容 大型・生活資料収蔵庫の受入番号や配架番号等の確認などの再整理作業及び津久井郷土資料室所蔵資料の確認作業を実施した。
- イ 登録者 9名
- ウ 参加者 延べ 145人(毎月2回程度実施している作業及び展示作業等に参加した人数)

(11) さがみはら動物標本クラブ

- ア 内容 平成26年度から活動を始めたボランティアグループ。博物館で保管しているものを中心に鳥獣の冷凍資料を標本化し、あわせて解剖や外部計測などの専門的な技術を習得した。
- イ 登録者 25人
- ウ 参加者 延べ 70人

(12) 尾崎行雄を全国に発信する会

- ア 内容 相模原市協働事業提案制度により採択された「尾崎行雄の業績と弔堂桜を広める事業」(尾崎弔堂記念館活性化事業)の実施団体として、尾崎弔堂記念館を拠点に「郷土出身の偉人」のさらなる情報発信を充実させる各種事業を博物館と協働で実施した(3年継続事業の3年目)。

尾崎行雄(弔堂)を知る巡回企画展の開催

- 実施日 シティプラザはしもと 9月10日～9月20日
 光が丘公民館 10月1日・2日
 ユニコムプラザさがみはら 10月8日～10月18日
 総合学習センター 11月27日～12月3日

尾崎弔堂の書物の輪読会の開催

- 実施日 第1回(総合学習センター) 7月3日(日)・10日(日)・17日(日)
 第2回(橋本公民館) 平成29年1月28日(土)・2月4日(土)

- 参加者 延べ 19名

尾崎弔堂ゆかりの地訪問の旅とガイドの実施

- 実施日 11月25日(金)
 参加者 42名

植栽事業の実施

- 実施日 根巻き作業 平成29年1月21日(土)
 配送・植樹 1月26日～3月1日
 公募 広報さがみはら3月1日号
 引渡し 3月26日・28日・29日

- | | | | |
|-------|-----------|-----|-----|
| 苗木提供先 | 市内小中学校・高校 | 13校 | 47本 |
| | 市内団体 | 6団体 | 18本 |
| | 公共施設 | 3施設 | 3本 |
| | 市外団体 | 4団体 | 20本 |
| | 市民(公募) | 12人 | 12本 |

資料管理

1 博物館収蔵資料点数（平成 29 年 3 月 31 日現在）

博物館 館内収蔵資料点数リスト

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位
考古	考古資料	考古資料収蔵庫等	6,873	箱
歴史	歴史資料	古文書収蔵庫	6,494	点
	歴史資料	特別収蔵庫	61,820	点
	歴史資料	生活・大型資料収蔵庫	1,305	点
	軍事資料	生活・大型資料収蔵庫	1,585	点
	古文書等市史資料 (旧役場文書は除く。)	古文書収蔵庫	3,322	点
	古文書等市史資料	特別収蔵庫	21,742	点
	購入資料	特別収蔵庫	112	点
	地図・写真資料	図面保管庫	5,911	点
		分野計	102,291	
民俗	民俗・生活資料	生活・大型資料収蔵庫	22,842	点
		分野計	22,842	
地質	化石資料	地質資料収蔵庫等	196	点
	岩石・薄片資料	地質資料収蔵庫等	1,354	点
	テフラ資料	地質資料収蔵庫等	1,560	点
	ボーリング資料	地質資料収蔵庫	323	点
	砂礫・泥流堆積物資料等	地質資料収蔵庫等	579	点
	文献	地質資料収蔵庫等	2	点
		分野計	4,014	
動物	魚類	液浸標本収蔵庫	40	点
	昆虫類	動植物資料収蔵庫	38,813	点
	小動物等	液浸標本収蔵庫等	594	点
	鳥類	動植物資料収蔵庫等	142	点
	哺乳類	動植物資料収蔵庫等	14	点
		分野計	39,603	
植物	乾燥標本等	動植物資料収蔵庫	55,260	点
	植物画資料	動植物資料収蔵庫	6	点
		分野計	55,266	
天文	天文資料	フィルム収蔵庫	2,108	点
	天文資料	天文展示室	14	点
		分野計	2,122	
		合計	233,011	

館内収蔵美術品資料点数リスト

館内収蔵美術品（文化振興課扱）

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位
美術品	絵画	美術品収蔵庫	395	点
	書	美術品収蔵庫	55	点
	彫刻	美術品収蔵庫	2	点
	写真	フィルム収蔵庫	2,169	点
		合計	2,621	

平成 28 年度 相模原市立博物館 年報

館内収蔵市史資料

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位
市史資料	行政資料 (旧役場文書)	古文書収蔵庫	600	点

博物館関係施設収蔵資料点数リスト

分野	分類	施設名	収蔵点数	単位
考古	考古資料	藤野第2資料保管庫	411	箱
		津久井郷土資料室	0	箱
		城山郷土資料保管庫	241	箱
		吉野宿ふじや	160	箱
		分野計	812	
歴史	歴史資料	津久井郷土資料室	0	点
		尾崎弔堂記念館	3,816	点
		小原本陣・小原の郷	254	点
		城山郷土資料保管庫	95	箱
		吉野宿ふじや	669	箱
分野計	4,834			
民俗・地理	民俗・生活資料	藤野第2資料保管庫	0	点
		津久井郷土資料室	0	点
		小原本陣・小原の郷	401	点
		城山郷土資料保管庫	850	点
		吉野宿ふじや	1,470	点
分野計	2,721			
動物	昆虫類	吉野宿ふじや	115	点
合計			8,482	

博物館関係施設別一覧

施設	分野	分類	収蔵点数	単位
藤野第2資料保管庫	考古	考古資料	411	箱
	民俗・地理	民俗生活資料	0	点
	施設計		411	
津久井郷土資料室	考古	考古資料	0	箱
	歴史	歴史資料	0	点
	民俗・地理	民俗生活資料	0	点
	施設計		0	
尾崎弔堂記念館	歴史	歴史資料	3,816	点
小原本陣・小原の郷	歴史	歴史資料	254	点
	民俗・地理	民俗生活資料	401	点
	施設計		655	
城山郷土資料保管庫	考古	考古資料	241	箱
	歴史	歴史資料	95	箱
	民俗・地理	民俗生活資料	850	点
	施設計		1,186	
吉野宿ふじや	考古	考古資料	160	箱
	歴史	歴史資料	669	点
	民俗・地理	民俗生活資料	1,470	点
	動物	昆虫類	115	点
	施設計		2,414	
合計			8,482	

博物館資料に関する図書等

博物館	図書	市民研究室等	収蔵点数	単位
博物館	ビデオ・CD-ROM, DVDソフト	情報サービスコーナー	405	点
	歴史関係図書類	古文書収蔵庫	3,814	点
	分野計		40,834	

2 収集・整理

分野	内 容
考古	埋蔵文化財再整理（国庫補助事業）、寄贈遺物の整理作業
歴史	寄贈・寄託歴史資料の分類整理、市域生活資料の収集整理、尾崎行雄(号堂)関係資料の分類整理、津久井郷土資料室所蔵の紙資料の博物館への移動・整理
民俗	収蔵資料のカード及び収蔵番号の整備、津久井郷土資料室所蔵資料の確認等の諸整理
動物	動物資料の収集及び標本の作製・整理、適正な保管を目的とした点検作業
植物	植物資料の収集及び標本の作製・整理、適正な保管を目的とした点検作業
地質	地質資料の収集及び標本の作製・整理、収蔵資料の整理
天文	天文現象・太陽画像の撮影 インターネットによる公開天文台ネットワーク等からの画像収集
情報	他博物館等から送付された刊行物の整理

3 購入資料

区 分	内 容
展示模型	蚕の発育順序模型、竪穴住居復元模型
学術専門雑誌	考古学ジャーナル、月刊むし、天文月報等の専門雑誌 15 種 (市民研究室、天文研究室で開架)

4 有害生物管理の実施

(1) 受入れ資料のくん蒸

殺菌、殺虫、殺卵のため、ガス薬剤（エキヒューム）を用いた定期的なくん蒸を実施した。洗浄乾燥室において2回、受入れ資料を対象に、被覆法により定期的なくん蒸を実施した。特別収蔵庫・古文書収蔵庫・美術品収蔵庫を1回、収蔵資料を対象に密閉くん蒸を実施した。

(2) 有害生物調査

7月～10月、収蔵庫および作業室を対象に、各種トラップを用いて有害生物の侵入状況を調査した。

5 資料の特別利用

利用総件数 97 件 (平成 28 年度中に利用申請されたもの)

資 料	区 分	利用期間	申 請 者	目 的
自在カギ	撮影	4 月 7 日 ~ 5 月 31 日	個人	出版物掲載
中村遺跡出土遺物図	パネル使用	4 月 28 日	長和町教育委員会	常設展
縄文土器	館外貸出	4 月 10 日 ~ 22 日	川尻小学校	授業
古文書 (マイクロ)	複写	4 月 15 日	個人	調査研究
古文書 (マイクロ)	撮影	4 月 26 日	個人	調査研究
写真	複写	4 月 28 日	個人	調査研究
相模陸軍造兵廠関係書類	撮影	5 月 7 日	個人	調査研究
御札類	撮影	5 月 24 日	個人	調査研究
地形写真	データ利用	5 月 27 日	(株)イビソク 神奈川営業所	調査報告書掲載
旧相原村役場文書他	撮影	5 月 30 日	個人	調査研究
旧相原村役場文書他	閲覧	6 月 8 日	相模原市立公文書館	企画展調査
地形図	複写	6 月 8 日	個人	調査研究
古文書 (マイクロ)	複写	6 月 10 日	個人	調査研究
田名塩田遺跡群出土土器	模写	6 月 11 日	個人	調査研究
谷口村絵図	閲覧・撮影	6 月 14 日・29 日	谷口自治会	記念誌掲載
勝坂遺跡出土土器他	撮影	6 月 16 日	上高津貝塚ふるさと歴史の広場	展示資料調査

中村遺跡出土石器他	館外貸出	6月24日～28日	日本旧石器学会	資料見学
勝坂遺跡出土土器	模写	6月25日	個人	調査研究
橋本遺跡出土土器	模写	6月25日	個人	調査研究
勝坂遺跡出土土器	模写	7月3日	個人	調査研究
神輿	撮影	7月5日	個人	調査研究
鞍・馬の沓	撮影	7月6日	寒川神社	企画展調査
下原遺跡出土土器他	館外貸出	7月6日～10日	相模原市文化財保護課	埋蔵文化財活用事業
企画展図録	館外貸出	7月8日	読売新聞 相模原支局	参考資料
古文書（マイクロ）	閲覧	7月8日	個人	調査研究
古文書（マイクロ）	閲覧	7月8日	個人	調査研究
相模陸軍造兵廠敷地図	データ利用	7月8日	個人	出版物掲載
掛軸	館外貸出	7月14日	退職公務員連盟	講演会資料
上中丸遺跡出土土器他	館外貸出	7月22日～29日	神奈川県立相模原総合高等学校	授業
新磯村役場資料他	撮影	7月24日～26日	個人	調査研究
古文書	撮影	7月26日	個人	調査研究
橋本遺跡出土石器他	撮影	7月28日	神奈川県教育委員会文化遺産課	展示資料調査
道祖神関係資料	撮影	8月12日	個人	調査研究
火山灰	館外貸出	8月19日～26日	個人	調査研究
古文書	館外貸出	8月13日～12月3日	明治郷土史料室	企画展展示

古文書、地形図	撮影・複写	8月26日	個人	調査研究
橋本遺跡出土石器他	撮影	8月26日	神奈川県教育委員会文化遺産課	展示資料調査
鞍・馬の沓	館外貸出	9月1日～9月30日	寒川神社	企画展展示
航空写真他	撮影・複写	9月7日	相模原市中央土木事務所	調査
古文書	データ利用	9月7日	(有)青史堂印刷	記念誌掲載
勝坂遺跡第45次調査出土石器	撮影・実測	9月8日～9日	個人	調査研究
橋本遺跡出土石器	撮影・実見	9月9日	個人	調査研究
雑誌・書簡他	出版掲載	9月20日～10月15日	八王子市郷土資料館	企画展図録
勝坂遺跡出土土器他	館外貸出	9月27日～12月16日	上高津貝塚ふるさと歴史の広場	企画展展示
火山灰	館外貸出	9月30日～10月7日	個人	調査研究
雑誌・書簡他	館外貸出	9月28日～12月21日	八王子市郷土資料館	企画展展示
勝坂遺跡第45次調査出土土器他	撮影・実見	10月7日	個人	調査研究
地形図	複写	10月12日	個人	調査研究
雑誌他	撮影・館外貸出	10月13日	個人	調査研究
灯火管制用電球他	館外貸出	10月15日～29日	相模丘中学校	授業
テフラ	撮影	10月18日	YTN	番組制作
田名向原遺跡出土石器	実見	10月23日	個人	調査研究
古文書	撮影	10月26日	個人	調査研究
寺原遺跡出土土器他	館外貸出	10月26日～31日	青野原地区文化祭実行委員会	展示

写真	データ利用	10 月 31 日 ~ 11 月 30 日	(株)ギャップ	印刷物掲載
教科書・絵葉書他	館外貸出	11 月 2 日 ~ 15 日	内郷文化祭実行委員会	展示
勝坂遺跡出土土器	館外貸出	11 月 3 日	相模原市文化財保護課	埋蔵文化財活用事業
田名向原遺跡写真他	パネル利用	11 月 5 日 ~ 3 月 31 日	寒川町教育委員会	企画展展示
尾崎記念館外観写真	データ利用	11 月 9 日 ~ 12 月 2 日	衆議院憲政記念館	企画展展示
地形図他	撮影	11 月 10 日	個人	卒業制作資料
ボーリングコア	館外貸出	11 月 11 日 ~ 12 月 9 日	淵野辺東小学校	授業
ボーリングコア	館外貸出	11 月 12 日 ~ 12 月 12 日	大沢小学校	授業
津久井城写真他	データ利用	11 月 17 日	KADOKAWA	印刷物掲載
谷原古墳出土副葬品他	館外貸出	11 月 17 日 ~ 22 日	相模原市文化財保護課	展示
古文書	撮影	11 月 18 日	個人	調査研究
ローム層顕微鏡写真	データ利用	11 月 21 日 ~ 12 月 22 日	横浜市立瀬谷小学校	授業
橋本遺跡出土石器他	館外貸出・出版掲載	11 月 24 日 ~ 3 月 17 日	神奈川県教育委員会文化遺産課	企画展展示
旧田名村役場資料他	閲覧	11 月 26 日	個人	調査研究
養蚕用炉	館外貸出	12 月 1 日 ~ 29 年 3 月 10 日	県立生命の星・地球博物館 県立歴史博物館	企画展展示
望地弁天写真	データ利用	12 月 2 日	個人	講演会資料
古文書	撮影	12 月 8 日	個人	調査研究
キャンプ淵野辺正面写真	データ利用	12 月 9 日	(株)イースト・エンタテインメント	番組制作
火山灰資料	館外貸出	12 月 10 日 ~ 29 年 1 月 10 日	個人	論文作成資料

地形図他	撮影	12月13日	相模原市市中央土木事務所	調査
航空写真	撮影	12月14日	個人	文化財展発表資料
古文書	データ利用	12月16日～31日	戎光祥出版(株)	書籍掲載
田名塩田遺跡群写真	データ利用	12月27日	神奈川県教育委員会文化遺産課	出版掲載
古文書	撮影	12月14日～29年3月6日	神奈川県文化遺産課	図録・パネル掲載
古文書	撮影	1月19日	八王子市郷土資料館	調査研究
橋本遺跡出土土偶他	館外貸出・写真掲載	1月20日～3月24日	相模原市文化財保護課	企画展览展示
航空写真他	撮影	1月21日～22日	個人	調査研究
ムササビ剥製	館外貸出	1月24日～2月3日	県立津久井湖城山公園	自然観察会利用
士官学校関係資料	閲覧	1月29日	個人	調査研究
古文書	撮影	2月10日	個人	調査研究
橋本遺跡出土石器	実見	2月15日	個人	調査研究
橋本遺跡写真	データ利用	2月16日	藤沢市文書館	出版掲載
古文書他	データ利用	2月18日～19日	相武台のナベトロ遺跡をたどる会	冊子掲載
火山灰顕微鏡写真	データ利用	2月21日～3月10日	(株)秀和システム	書籍掲載
絵葉書	撮影	2月22日	個人	調査研究
雑誌	閲覧・複写	2月23日	個人	調査研究
古文書	撮影	2月25日	滋賀県立琵琶湖博物館	調査研究
勝坂遺跡第1次調査出土土器	撮影	2月28日	個人	調査研究

平成 28 年度 相模原市立博物館 年報

航空写真	データ利用	3月7日～14日	相模原市文化財保護課	報告書掲載
盆の砂盛り写真	データ利用	3月10日～5月22日	(株)EDIX	印刷物掲載
相模原市歴史かるた	館外貸出	3月16日～18日	上鶴間公民館	主催事業利用
古文書(マイクロ)	複写	3月22日	個人	調査研究
中村遺跡出土石器	実見	3月12日	個人	調査研究

利用総件数 2件(平成28年度中に利用申請されたもの) 博物館資料以外の図書等

資 料	区 分	利用期間	申 請 者	目 的
天文写真パネル	館外貸出	10月4日～11月6日	南牧村教育委員会	企画展展示
天文写真パネル	館外貸出	29年1月25日～3月28日	さいたま市青少年宇宙科学館	企画展展示

調査研究

分野	内容と成果
考古	津久井城跡と大日野原遺跡の発掘調査を実施したほか、縄文時代の植物種子圧痕土器や旧藤野地域採集遺物の資料調査を行った。
民俗	津久井町史文化遺産編執筆のため、特に旧津久井町域の祭礼及び正月の団子焼き行事、寺院の行事についての調査を行った。団子焼き行事については研究報告第 25 集に掲載した。
歴史	市域の中世武士伝承について調査し、特に上溝・下溝に伝承がある「横溝五郎」について研究報告第 25 集に掲載した。その他、寄贈された近世～近・現代資料の整理・分類・目録作成を進めた。
動物	市内の動物分布状況調査を行い、希少動物の生息状況および生息環境の把握を進めた。
植物	市内の維管束植物などの植物相調査を進め、その中で明らかになった市内に自生する絶滅危惧植物の保全、増殖事業を行った。
地質	相模原市内、鶴川、桂川、羽村市周辺の地質調査を行った。調査結果の一部は、研究報告第 25 集、日本地質学会第 123 年学術大会において公表した。
天文	日本の太陽系探査について調査研究を行い、企画展の展示に生かした。

検討会委員等の派遣

八王子市市史編集専門部会委員	加藤隆志
相模川河川整備計画有識者会議委員	秋山幸也
国土交通省宮ヶ瀬湖河川水辺の国勢調査アドバイザー	秋山幸也
神奈川県丹沢再生委員会委員	秋山幸也
清川村史編集委員会委員	守屋博文

市史・町史編さん

1 相模原市史

(1) 市史編さん審議会

ア 趣旨 市史編さんに関する重要な事項について、市長の諮問に応じて調査・審議する附属機関。委員 10 人。事務統合のため平成 22 年度から津久井町史についても取り扱うこととした。

イ 委員構成（任期 2 年）

平成 27 年 7 月 31 日～平成 29 年 7 月 30 日		会長	副会長
氏名	備考	選出区分	
小川 紳夫	公募委員	公募委員	
岡田 万里子	桜美林大学准教授	学識経験者	
高村 敦子	元相模原市立中央中学校教諭	学識経験者	
長澤 敬子	元相模原市立くぬぎ台小学校長	学識経験者	
中村 洋子	大野南公民館長	副会長	学識経験者
奈良 雅之	元相模湖町立北相中学校長	学識経験者	
樋口 雄一	元神奈川県公文書館郷土資料課長	会長	学識経験者
平澤 哲周	公募委員	公募委員	
守屋 浩之	津久井湖城山公園自然環境に関する連絡会委員	学識経験者	
矢野 英明	帝京大学教職大学院客員教授	学識経験者	

ウ 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	8月23日(火)	(1)平成27年度市史・町史編さん事業の実施状況について (2)平成28年度市史・町史編さん事業について (3)相模原市史近代資料編について (4)その他
2	平成29年 3月16日(木)	(1)平成28年度市史・町史編さん事業の実施状況について (2)相模原市史近代資料編について (3)相模原市史別編について (4)津久井町史文化遺産編について (5)その他

(2) 市史編集委員会

ア 趣旨及び委員構成

市史の編集方針及び執筆内容を検討する委員会。任期 2 年、委員 10 人、年 2 回開催

イ 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	8月10日(水)	(1)委員長及び副委員長の選任について (2)平成27年度市史編さん事業の実施状況について (3)平成28年度市史編さん事業について (4)相模原市史近代資料編について (5)その他
2	平成29年 3月2日(木)	(1)平成28年度市史編さん事業の実施状況について (2)相模原市史近代資料編について (3)相模原市史別編について (4)その他

(3) 専門部会の活動状況

近現代部会

部会の開催（市史「近代資料編」への取り組みについて検討）

開催日 4月23日、5月28日、7月2日、8月13日、9月10日、
10月8日、11月12日、平成29年1月7日、2月18日

(4) 普及事業

ア 市史講演会「相模原の仏像-市史文化遺産編の寺社調査から-」

内容 市史「文化遺産編」の刊行を記念して、旧相模原市域の寺社に伝えられた神
仏像彫刻の歴史等について分かりやすく紹介した。

実施日 9月25日（日）

参加者 141人

講師 薄井和男さん（相模原市史文化遺産部会員、県立歴史博物館長）

イ 『相模原市史ノート』第14号の発行 A5判、89ページ、700部、 平成29年3月31日発行

ウ 市史刊行物の販売

- ・行政資料コーナー、公文書館、博物館で販売
- ・相模原市書店協同組合加盟店（12店舗）で販売（平成20年4月から）

2 津久井町史

(1) 町史編集委員会

趣旨及び委員構成

町史編さんに必要な資料調査・収集を行うとともに、刊行物の企画及び構成の検討・編集等を行う委員会。任期2年、委員16人。なお、委員会の会議は、原則として専門部会又は特別部会ごとに開催し、編集委員長が招集する。

(2) 各専門部会の活動状況

町史編集委員会に設置された原始・古代、文化遺産部会及び合同部会長会議を開催し、普及事業及び刊行物の構成の検討や刊行に向けた調査・執筆、編集作業を行った。

ア 原始・古代部会

部会の開催（町史「通史編 原始・古代・中世」の刊行に伴う意見交換など）

開催日 6月12日

イ 文化遺産部会

部会の開催（町史「文化遺産編」の執筆内容や調査の実施状況の報告など）

開催日 4月27日、12月1日

調査の実施

- ・寺院調査 寺院建築に関する調査
- ・祭事調査 例大祭、どんど焼きなどの調査
- ・彫刻・絵画等調査 寺院に保存されている仏像や掛軸などの調査
- ・近代化遺産建築調査 青根公民館や横浜市水道局青山水源事務所（旧事務所）などの調査

ウ 合同部会長会議

会議の開催（平成28年度町史編さん事業の実施状況について、「文化遺産編」について、『ふるさと津久井』第7号について、編集委員会正副委員長について）

開催日 平成29年2月21日

(3) 普及事業

ア 町史講演会「津久井の歴史に触れる」(全3回)

内容 町史「通史編 原始・古代・中世」の中から主に原始時代及び津久井城に注目し、執筆者がその内容の一端をわかりやすく紹介した。

- 第 1 回 「ここまでわかった津久井城-嶮岨崔嵬（けんそさいかい）の名城-」
内 容 「新編相模国風土記稿」の中で、津久井城は地勢のけわしい岩がごろごろした場所-嶮岨崔嵬（けんそさいかい）-として紹介されている。現在も発掘調査が行われている津久井城址。いままでにわかった成果や津久井町史の調査により明らかになった内容など、最新の情報を紹介した。
実施日 8月28日（日）
参加者 85人
講 師 佐々木健策さん（小田原城天守閣学芸員）
会 場 津久井湖記念館
- 第 2 回 「津久井の縄文文化-縄文時代のムラとくらし-」
内 容 緑区烏屋の寺原遺跡や青野原大地開戸遺跡、青根馬渡遺跡など、旧津久井町では縄文時代の遺構が数多く発見されている。山間地域における縄文時代の集落や生活、他地域とのネットワークなど、その実態に迫った。
実施日 10月22日（土）
参加者 35人
講 師 佐藤健二さん（厚木市教育委員会文化財保護課）
会 場 津久井生涯学習センター
- 第 3 回 「三ヶ木遺跡と三ヶ木式土器」
内 容 旧津久井町では数少ない弥生時代の遺構や遺物。しかし、隣接する旧城山町や旧相模原市、清川村などでは、多くの遺物が出土している。神奈川県内や周辺地域との関係、河成段丘上に形成された地形などから、三ヶ木式土器に代表される弥生時代の津久井について考察した。
実施日 11月26日（土）
参加者 35人
講 師 谷口肇さん（神奈川県教育委員会文化遺産課）
会 場 津久井生涯学習センター
- イ 『ふるさと津久井』第7号の発行 A5判、104ページ、700部
平成29年3月31日発行
- ウ 町史刊行物の販売
・行政資料コーナー、公文書館、博物館で販売
・相模原市書店協同組合加盟店（12店舗）で販売（平成20年4月から）

博物館関連施設

1 尾崎弔堂記念館（緑区又野）



尾崎弔堂記念館は、「憲政の神」といわれた尾崎行雄（弔堂）を多くの人に知ってもらおうと、生誕地である尾崎家代々の屋敷跡に昭和 32 年 1 月に、「尾崎弔堂うまれ地記念事業委員会」によって建設された。

昭和 33 年度に旧津久井町に寄贈され、平成 18 年 3 月の市町村合併に伴い相模原市教育委員会が所管引継ぎした。

敷地内には、尾崎自身の筆による「善悪乃標準の碑」が建てられており、館内には写真や肖像画、遺品のほかに幅広い活動の足跡を物語る資料が保存、展示されている。

平成 28 年 2 月、協働事業提案制度事業で常設展示をリニューアルした。

（1）施設概要

ア 延べ床面積	229.62㎡
イ 建物構造	木造 瓦葺き 平屋建て
ウ 入館料	無料

（2）善悪乃標準の碑

敷地内に入って、右手にある秩父産の花崗岩でできた高さ 3 メートル、幅 50 センチメートルの碑面には、「世人乃幸福をます言行八みな善事之をへらす言行八みな悪事」の文が刻まれている。碑は、東京都港区・故上木長氏の建立であったが、弔堂ゆかりの地に保存したいとの希望を受けて、昭和 46 年に現在の場所に移設された。

（3）弔堂桜・里帰り桜

尾崎行雄が東京市長在職中の明治 45 年、米国ワシントンのポトマック公園に 3,000 本の桜の苗木を贈り、「日米友好の証」を築いたことはよく知られている。ワシントンから東京都足立区に里帰りしたソメイヨシノなど 4 品種の桜苗木を『弔堂桜』と命名、その内の『普賢象』1 本が平成 4 年、記念館の庭に植樹された。

また、平成 24 年には桜寄贈 100 周年を記念し、新たな里帰り桜『ソメイヨシノ』1 本が有志により植栽された。

2 吉野宿ふじや（緑区吉野）



吉野宿は、江戸時代初期に定められた五街道のひとつ、「甲州道中」の宿場で江戸と甲府の中間にあたり、高遠藩・飯田藩・高島藩（諏訪藩）の参勤交代の常宿として栄えた。

「ふじや」は、かつて、旅籠「藤屋」として営まれていたが、明治 29 年の大火で焼失し、現在の建物は明治 30 年頃に建てられたものと言われている。

平成元年に旧所有者から旧藤野町に建物が寄贈され、平成 18 年に藤野町指定重要文化財に指定された。

国道 20 号改良工事（歩道設置）に伴う曳家による移設及び改修が完了し、平成 25 年 7 月 2 日にリニューアルオープンし、平成 26 年 4 月 1 日には町家遺構としての見地から市登録有形文化財に登録された。

（1）施設概要

ア 延べ床面積	392.51㎡
イ 建物構造	木造3階建て

3 入館者数一覧

(1) 尾崎号堂記念館

	利用人数(人)	開館日数(日)	1日平均(人)
24年度	1,767	294	6.0
25年度	1,593	293	5.4
26年度	1,593	295	5.4
27年度	1,571	298	5.3
28年度	1,859	302	6.2
合 計	8,383	1,482	5.7

(2) 吉野宿ふじや

	利用人数(人)	開館日数(日)	1日平均(人)
24年度	1,094 *1	183	6.0
25年度	2,132 *2	228	9.4
26年度	3,202	307	10.4
27年度	3,119	304	10.3
28年度	3,154	302	10.4
合 計	12,701	1,324	9.6

休館期間 *1 工事による休館 平成24年11月1日～平成25年3月31日
 *2 工事による休館 平成25年4月1日～7月1日
 積雪による休館 平成26年2月18日～2月26日

休館日 平成29年度から原則、土・日・祝日開館
 平日は団体のみ受付

発行日	平成 29 年 4 月 1 日 相模原市立博物館
住 所	〒252-0221 相模原市中央区高根 3 - 1 - 1 5
T E L	0 4 2 - 7 5 0 - 8 0 3 0
F A X	0 4 2 - 7 5 0 - 8 0 6 1
e-mail	hakubutsukan@city.sagamihara.kanagawa.jp
U R L	http://sagamiharacitymuseum.jp/